# 婦選

十二月号

婦選獲得同盟

昭和二年一月一日創刊
昭和五年十二月一日發行
第四卷第十一號
一部金貳拾錢

# 婦人勞働革命

ア・コロンタイ著・大竹博吉譯

婦人の協力なしには一切の社會問題の解決はなく、婦人の積極的參加なしには人類社會の如何なる進展もあり得ない。だがしかし今日まで社會の婦人を遇するに如何に冷淡なりしか？　過去數千年に亙る婦人の奴隷的屈從の受難史は遂にその最後の頁を閉づる時が來た!!　黎明の光に赤く輝いたソヴエト・ロシアの婦人解放論者ア・コロンタイは、その博識と豐富なる經驗とを以て、婦人は如何に屈服せしめられて來たか如何に起ち上らうとして來たか？　如何に鬪つて來たか？　そして如何に勝利したか？　そして最後に全世界の婦人大衆に向つて、如何に鬪ひ勝利すべきかを呼びかける。本書を讀まずして現代婦人といふ勿れ、將來の婦人を語る勿れ、婦人の解放を語る勿れ、本書は正に現代婦人政治經濟學書最高の文獻にして、エンゲルス「家族私有財産及び國家の起源」ローザ・ルクセンブルグ「經濟學入門」と共に絶對に離す能はざる階級的教科書である。

**婦人の地位は常に彼女の經濟上の職分によつて決定される**

定價一圓三十錢（送料全國十錢）（四六判・布表紙函入）

# 綜合ヂャーナリズム講座

第二卷配本中

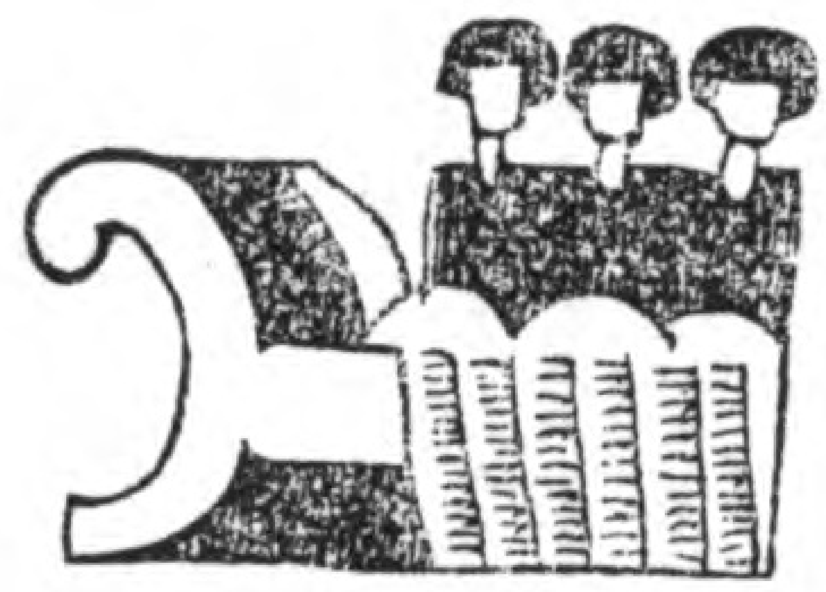
千葉龜雄・大宅壯一・編輯

大竹博吉　喜多壯一郎　長谷川好是閑　高田元三郎　緒方竹虎　廣津和郎　佐々弘雄　渡邊紳一郎　來間恭　富士辰馬　井上吉次郎　阪本勝　美土路昌一　小高吉三郎　平野善之助　春日俊吉

全十二卷・一冊・一圓五十錢

# 内外社

東京・京橋・桶町八・梅田ビル
電話・京橋・六三七七
振替・東京・七六八四九



**クリスマス・プレゼント**に

歳暮の御贈答に

弊店の嶄新なる文房具を御用命願ひ上げます

萬年筆、**エバーシャープ**、**レターセット**其他年末年始御贈答用の文房具を豊富に取揃へて御座います

株式會社

# 文祥堂

**新橋販賣店**（銀座通新橋際　電話銀座五〇八一番）

**丸ノ内販賣店**（丸ノ内ビルディング二階　電話丸ノ内一九四一番）

**本店**（銀座三丁目四番地　電話京橋五〇七五・一八〇九　五〇七六・一三六〇）



天下一品
萬
キッコーマン醤油
日本一
万上
マンジョウ味淋
暖かいお料理にこの調味料
資本金三千萬圓　醸造高五十萬石
野田醤油株式會社

FUSEN·FUSEN

# 婦選 第四巻第十一號 十二月號目次



## 昭和五年をおくる　（巻頭言）

年がくれる。顧みて心のこりなく闘つたことしであつた。

第二次普選に對する選擧革正運動、臨時議會への示威としての全日本婦選大會。春と秋の全國大遊說。それらの收穫として婦人公民權案の衆議院通過と、東北、中國、九州、關西の地方支部組織。而して北陸婦選大會の壯擧。

いまや同志は全國に充ち、婦選の旗は四方に進む。かくて、參政權、公民權、結社權即時獲得の婦人の聲は國內に溢れる。

この時に當り、正に開かれんとする第五十九議會に、政府はその漸進主義に基く制限公民權案をかざして、婦人を政治的に動員しやうとして居る。

制限案とは何か、即ち不具的、切りきり的、女を一人前扱ひせざる案である。

私たちは、こゝにもう一度はつきりと叫ばねばならない。

そんなものは入りませんと。

制限案に對する反對聲明は婦人側に於て相當行はれてゐるが、眞の反對は畫にかいた餅でもなければ、芝居の臺辭でもない。途半ばにて節を屈し、膝を折るならば、初めより、反對を口にせざるが正しい。

いゝじやあないか、半分でも貰つておいて上手に用へば、後はまたじきにいたゞけますよ、などゝいふことばを恥ぢよ。

參政權を、結社權を、完全公民權をすぐ、いま、わたしたちは要求する。

勿論、政治が女性の生活の全部ではない、それは男性もさうであるやうに。たゞわれ／＼は、女自身の本質をいかし、女性として社會の構成に加はりたいために、これらの自由を要求する。

それは、女が男になりかはらうとする事では絕對にない。

昭和五年よ。さらば私たちは、くる年もまたこの願ひをむねに一すじに歩いてゆこう

# 全國町村會の婦人公民權反對論に駁す

市川房枝

□

全國町村長會は、十一月四日附で『婦人公民權問題に關する本會主張の要旨』として『本會は婦人に公民權を附與するは、今日の我國情に通ぜざるものと認む』る旨の理由書を貴衆兩院議員に送附した。

去る九月の廿三日より五日間開催された同會の調査會に於ては、本誌十月號に掲載した如く、阻止運動についての協議を採み消し得たが、同會々長の執拗な反對は、本年一月に開かれた定期總會に於ける決議の實行として、前記の如き方法を採らしむるにいたつたのであつた。

全國町村長會は、婦人公民權のみならず、過去に於て、男子の普通選擧及男子の公民權の擴張にも反對した歷史を持つてゐる。殊に男子の公民權に對しては、普通選擧の通過したる後であるにも拘らず、之が擴張に反對し、大正十四年夏の臨時總會に於て世帶主に限り附與せんことを決議し、當局に建議したのであつた。然し時代錯誤的な此の決議は一顧も與へられず、翌十五年の第五十一議會に於て、男子の公民權は、現在の範圍に迄擴張されたのであつた。

抑々全國町村長會なるものは本誌十月號で述べた如く、全國の町村長によつて組織された團體であるが、その町村長なるものは、制度上、町村會の推薦に依るものであるが故に、その大部分は地方の地主若くは長老と稱する最も保守的な階級に屬する人達によつて占められてゐる。この點を考へれば同會が、過去に於ても、亦現在に於ても時代に逆行した保守的な言動をとりつゝあることはむしろ當然といひ得る。

從つて私共は、同會の此度の決議そのものに、大した重要性も認めないし、之が公民權案を阻止するために大な力となるものとは考へない。たゞ私共としては、町村會の理由とし

て掲げられたものは、婦選問題に對する最も保守的な反對論の代表的なものと考へるが故に、此機會にそれ等についての私共の態度を明にしておきたいと思ふ。

□

『本會は婦人に公民權を附與するは、今日の我國情に適せざるものと認む』といへば、尙早論の如く思はれるが、これが理由として掲げられたるものを見ると、それは全く反對論である。

曰く　代議政治そのものに弊害が續出してゐる。
曰く　諸外國に於ける公民權附與の結果はよくない。
曰く　事務の煩鎖と選擧の紛亂を招來する。
曰く　男女は其の職分を異にしてゐる。
曰く　外國に眞似る必要はない、日本には日本の國情がある。
曰く　婦人の利益權利は家族制度の下で擁護されてゐる。
曰く　家族制度の基礎を動搖せしめる。

等々、極めて廣範圍に亘つて反對理由が列擧されてゐる。

然しそれ等の反對の項目を、細に見ると、それは、二つの立場から來た反對と見る事が出來る。即一つは同會の反デモクラシー的立場から來たもので、代議政治を否認するらしい口吻、歐米に於ける、婦人公民權實施の結果に對する偏見、日本に於ける實施の場合の危憂等がそれである。今一つは、同會の婦人に對する封建的な舊思想によるもので、家庭の務めと公民權と矛盾するものとなす點、婦人は家族制度の下に於て其の權利利益を擁護され得ると說き、更に日本古來の淳風美俗である家族制度を破壞するものだと斷定するのがそれである。

□

現在の代議政治そのものの功罪は勿論檢討を要すべき問題であるが、それは決して過去の專制政治に逆戻りしてよい事にはならない。

歐米に於ける婦人公民權實施の結果が、豫期の好成績を收め得ざりしとは如何なる事實による斷定であるか。我々は事實によらざる單なる抽象的の論斷に承服する事は出來ない。

歐米に於ては婦人公民權、即婦人の地方自治體に對する參政權は、槪して婦人參政權よりも早く實施され、その結果は參政權よりも遙かに良好である事實を我々は握つてゐる。

婦人公民權附與によつて生ずる事務上の煩鎖こそは直接町村長の責任範圍に歸するものであるが、然し煩鎖といふべき程とは考へられない。婦人公民權が附與される事によつて生

する第一の事務は、婦人選擧人名簿の、調製であるが、婦人なるが故に我々一戸を構へてゐる譯ではないから、只倍數の姓名を帳簿に記入するだけである。次は選擧の場合に倍額の投票を數へること位である。それだけの事務を煩鎖と稱するは反對の口實としか考へられない。

婦人が參加する爲に選擧界の紛亂を招來するとは、今日の男子の選擧界の腐敗をそのまゝ、婦人に適用せんとするもので己の惡を以て人を律せんとするの類である。我々は婦人が參加する事によつて、今日の腐敗を多少でも淸淨ならしめんとするものであるが、假りに數歩をゆづつて救ひ得ないとしても今日以上に腐敗する余地はありえないと信じてゐる。

□

婦人に對する道德については、我々は町村長會とは全く立場を異にする。我々は過去の婦人に對する奴隷的な道德、忍從的な道德をすてゝ現代に適したる新道德を樹立せんがために參政權を要求し、これが獲得の運動に一身を献げてゐるものである。

婦人が男子と性を異にしてゐる結果、そこに職能の岐れることは我々も認めてゐる。認めてゐればこそ、我々は婦人としての務めを盡すために、政治への參加を希望してゐるものである。

町村長會は頻りに我國古來の淳風美俗である家族制度を云々し、その中に於て婦人の利益權利は完全に擁護されるかの如く稱するが、それは封建時代の夢である。今日に於ては家族制度そのものが第一に變化しつゝある。抑々家族制度なるものは家を存續させるために家長に絶對的な權力が與へられ家族は妻といはず、弟といはず、その命の儘に働いて來たのであつた。

然し近代の産業組織の變革の結果、現在の多くの家庭に於ては、家長は家族を扶養することが困難になつた。婦人は安心して子供を産むことが出來ないし、夫によらないで自分で生活するだけの用意も必要となつた。この狀態に於ては封建時代の所謂家族制度なるものは最早影を沒せざるを得ない譯でこれを防ぎとめることは如何なる力も不可能である。

現在に於ては我々は寧ろ古いものを防ぎとめるのではなく今日の時代に適應した新しい家族制度を樹立することに努力することが肝要である。

時代に適應した家族制度とは、男子たる家長の專制ではなく夫婦を中心とした共同の生活でなくてはならない。此の新制度は單に家庭內だけでなく、自治體並に國家にも及ぼさる

べきものである。婦人公民權の附與によつて、家庭制度の動搖を恐れるのは見當違ひも甚しいものである。

## 婦人公民權問題に關する本會主張の要旨

一、本會は婦人に公民權を附與するは今日の我國情に適せざるものと認む

理由

本會曩に定期總會に於て、婦人に公民權を賦與することを以て今日の我國情は未だ其時機に非ずと決議したるは、固より婦人が永久に政治的に無能力にして公務に參與するの任に堪へざることを前提としたるに非ざるや論なし。唯だ全國を通じ今日の狀態に在りては、其敎育の程度に於て日常生活の狀態に於て、將又我家族制度及社會習慣上婦人は假令公民權を賦與せらるゝも完全に其の權利を行使し得ざるや明にして、徒に事務上の煩瑣と選擧界の紛亂とを見るに過ぎざるのみならず、延ひて我家族制度の基礎を動搖せんことを惧るゝが故に外ならざるなり。

男女既に性を異にす、其の必然の結果として體格、體質、精神其の他各方面に於て如何とも爲し難き相違あり、此の生理上の相違に對して優劣上下の差等を附することは正當ならざるは勿論、固より其の差等は存せざるなり。只其の性能の差異と國情に基く制度習慣上、自ら其專ら任ずる職務の依て岐るゝ所のものあり、從て政治上の待遇を必然的に男女同一なるべく斷定するの要無きなり。

説を爲すものは多く例を歐米諸國に求め、彼れ已に然り吾れ亦然らざるべからずとす、是皆國情を顧みざるに原因せる謬論なり政治機關の構成上金科玉條とされたる代議政體すら、今日は已に多くの弊害に堪へず、歐米の先進國と雖もこれが改善の途に就て識者の意見が擡頭せるにあらずや。今日極めて僅少なる少數婦人の提唱に係る婦人公民權附與說の如き、我國體の基礎を爲せる家族制度の動搖を來さん恐れあるのみならず、我國の社會習慣と背馳せる新制度を急遽に採用を試みんとする程に、我國情は未だ要求し居らざるを知らざるべからず。又或る者は婦人に公民權を與へざるときは市町村會に於て有力なる代表者を缺き、自然婦人の生活に對し適當なる注意の拂はれ難き憾みありと言ふも、家族制度の本質より見て此の見解は全く誤謬に屬し、反て政治敎育の普及せざる今日、婦人に公民權を附與することは婦人の正當なる權利々益の之れが爲め毫も擁護さるゝことなきのみならず、選擧界の紛亂を招來するに終るは明なり。由來我國の政治家は新制度を追ふに急にして我の長を捨て彼の短を採れる誤に陷れること尠からず、況んや婦人公民權附與の如き、歐米諸外國と雖必ずしも豫期の好成績を收めざりしものに在りては。先覺者の深き注意を要すべき所なり。

全國町村長會

# 婦選流

議會が迫つても、共同戰線の張れたのは無産派ばかり、婦選獲得同盟笛ふけども、同志會、參政權協會踊らずの婦選戰線は余りに異狀がなさ過ぎはしないか。尤も『西部戰線異狀なし』の中にも、實際の戰線については何にもしらずに、たゞ巴里へ／＼と酒盃をあげる連中が出て來るのと似たりよつたりのことかもしれないが、政府は聯合軍より大分手强い敵なのだから始末が惡い。

×

私はあなたを愛します、といふ台辭は中々いひ難いものらしいが、私はあなたを嫌ひだといふ台辭は、それ以上に後口の苦いものらしい。だが然し、それがいへない位なら大人しくいふ事をきけばいゝ。きゝたくはないがその又わけはいへないからまあ一しよにお茶でものんで、つきあはふといふやうな十二一重式の外交手腕を、婦人運動に於て排撃するのがわれ／＼婦選流である事を、玆に敢て聲明する。

×

國際聯盟協會婦人部といふのが出來た。ずらりと並べられた創立協議會の顏ぶれはと見ればいづれも婦人界の年寄どころ。國際聯盟協會、今頃婦人部なんか作つて、なんだ未だなかつたのかと思はせる位が關の山。いづれも關係團體幾十といつた重役所だ。同じ顏を方々の會に連ねてみたところで、どうせ、がつちりした仕事の出來よう道理がない、といふわけは精力の分散は魂膽打ち込んだ事業を完うせんがためには避くべきであるからだ。尤も聯盟だつてそんなことは重々承知の上での體面つくりに違ひないのだらうが。國際聯盟が頭痛に病んでゐる日本の公娼制度。まづ第一關門としてこの問題に當然ぶつかる新設婦人部は果してどんな態度に出るか。問題は我々同じ女性として關係が深い。聯盟の仕事たるや營利會社の事業經營とは生れ乍らにして違ふ。さうでせう？それ見ろ、とは言はれたくないだらうが、こちらも、そんなものであつてほしくないものとつく／＼思ふ次第である。

×

歲の暮が近くなつた。吉例に洩れず、同情週間、救貧バザー、社會鍋、等々とおもちや箱をひつくり返したやうに、にぎやかな事だ。だが、年越米の一升やおかちんの幾切れかの報酬を貰つて、これ等の慈善家の慈善心の對照として存在しなければならない「貧民」こそいゝ面の皮と言ひたい。「惠み」を受けた「貧民」のおかみさん達はガタピシした戸口につかまつて、慈善家の後姿を見送りながら、かういふでせうよ、「鐵砲打つて遊びたいために飼はれる兎みたいな生活あもう澤山だ。」つて。

×

二年越のガス問題が、今頃又市民大會なんぞで空景氣をつけてゐるが、五十錢値下をぽんと蹴られて八錢で頭を甜められたりしても、結局詰問狀位で指を咬へてゐなければならないやうな、不徹底な統制權しか持つてゐないのでは、相變らずガス會社になぶられるだけだらう。

# 婦人參政の十年

バッサー女子大學教授 シー・ミルドレッツド・トムソン

星野はな譯

米國の婦選が實施されて十年目といふので今年—一九三〇年—は、彼地でも大分これに就ての論述が行はれてゐます中の、これは一つです。

が、これは實際運動者の言ではない、一人の大學教授としての彼女が、研究室から靜かに眺めた婦人參政十年觀なのです。そしてそこにこそ寧ろ私共はより多くの味ふべきものを發見出來るやうに思はれるので、調査委員會委員星野夫人を煩はしてご紹介する事にしました。

（編者より）

世界大戰の直後アメリカ合衆國憲法に二大修正が加へられた其の一は一九一九年に通過した第十八條(Eiteenth Amendment) 即ち酒類の釀造と賣買を禁止する法律であり、他は一九二〇年に是認された第十九條、即ち婦人に投票權を與へる法律である。第一の法に依つては現存せる權利が禁止され市民の自由が制限された。第二の法に依つては制限が撤廢され市民の自由が擴張された。家族に於いても學校に於いても、國家に於いても、制限を附する事は、自由を擴げる事に比し、はるかに實行困難である事は言ふをまたない。之が十八條に附隨して幾多の實施案(force bill) が通過されたにもかゝはらず、尙禁酒法の一部さへ完全には實施されてゐない所以である。したがつて、十八條を廢止するか然らざれば修正しやうとする說が次第におこり、一九二八年大統領選擧に於ける爭點でもあつたし、又今年行はれる州知事及兩院議員選擧にあたつても重大な論議の的と目されてゐる。

之に反して十九條は全然別個の歷史を持つてゐる。この法を修正又は廢止せんとする議論はない。婦人に投票權を行使させるため何等格別の實施案を必要とし

ない。婦人が參政權を獲たために政黨に離合のあつた事もない。婦人を投票場に近づけまいとする運動もない。南部諸州で黒人の投票を妨害する民主黨白人の如く、婦人投票者に對する男子軍あるを聞かない。各州法中に婦人の投票を實際上困難とする挿入句もない。以上の事實は婦人參政權は確實に獲得され十九條はその實施後十年間に完全に是認された事を意味する。

之は滿足すべき一現象であるが他の方面に於いてはどうあらう。一九二〇年以前に婦選論者に依つて望まれた利益は實現したのであらうか、反對論者に豫言された社會的政治的弊害を避け得たであらうか。

◇

婦選論者にかゝげられた旗じるしは、政治道德を高め官吏の腐敗を防ぎ、殊に地方政治を清く明るきものにすると言ふ事であつた、然し過去十年を振りかへつて之等の希望が實現したとは思へない。全國的に婦人が投票權を行使した最初の年、一九二〇年に官吏の腐敗、高官の不道德はその極に達した。ニューヨーク、シカゴ、フイラデルヒア等の大都市に於ける今日の市政は一九二〇年以前のそれよりいかなる點に於いても優れてゐるとは思へない。私の故鄕ヂョーヂア州では最近二年間敎育費は徒費されるか他に流用され敎育は進まず敎師の俸給は支給されてゐない。而も敎育の發達は婦選論者の主張の一であつた。

政治の腐敗は今なほ續いてゐる、大都市の政治はニューヨークの如く民主黨の手にあつても、シカゴ、フイラデルヒアの如く共和黨の手にあつても、男子だけが投票しても、婦人もまた之にあづかつても、依然として解けない問題である。

然し小都市に於いては婦人の考へ深い強い感化の現はれて來てゐる處もある。地方的選擧の時特殊の利害問題をもつて投票者が釣られる場合、婦人が團結して「政治屋」を排し、よりよき政治にひたむきに進むといふのも可能な事で、この種の實例も或地方にはあつた。けれども要するにそれは特殊事實で不斷の狀態ではない。

十年は婦人投票の結果を見るのに十分な期日でないのかもしれない。或は一般としての結果は幾年たつても現れて來ないのかもしれない。私はむしろ後者を信じる。婦人が男子より公正な投票をしないと斷定する理由はない。婦人だからとて桃色の投票用紙を用ゐる譯でもなく、投票器を用ゐる場合には男も女も同一なものを用ゐるので、單なる傳聞による他は、婦人が如何に投票權を行使してゐるか知る道はない。反對の事實が明でない限りは婦人も男子と同樣に投票すると見

る他はない。或選擧の場合又はある問題に關して、投票は男女の性別に依つてよりは、經濟的社會的地理的に支配される事の方が多い。

一九二八年の大統領選擧の時、或地方殊に南部諸州では强い宗教上の反感から或は禁酒法擁護のためスミス氏に反對の投票をした婦人の數は男子のそれにまさつたといふ噂がある。之を事實として、之が婦人参政權を是認する理由となるか否か。フーバー氏を立てる共和黨は「然り」と言ひ、スミス氏擁護の民主黨は、「否」と言はう。然し眞の婦選論者はそれと之とは關係無しと答へやう。婦選は共和黨か、民主黨か、社會黨か、その使用される方向に依つて評價されるべきものではない。十九條存在の可否が過去十年間の公生涯に現はれた結果のみに依つて定められるとするなら、可とする理由は薄弱である。

◇

婦人が投票に依つて政治に感化を與へなかつたとすれば、短い十年間、婦人自身公務に就き直接社會になした奉仕はなは少い。今日婦人にして公の地位――選擧に依るものにしても任命に依るものにしても――にある者は少い。婦人にして知事なるもの二名、下院議員なるもの十一名あるが上院に席を有するものは無いルース・ハンナ・マツコーミツク夫人がこの十一月、イリノイ州から上院議員に選出されるかどうか未だわからないが、もしあげられてもそれは夫人が女なるが故ではなく、マーク、ハンナの娘であり、上院議員なりしメデイル、マツコーミツクの寡婦であるからである。夫人が方策に富む政治家であり、而も禁酒法擁護に特に熱心ではないといふ事も夫人の勝利を助けるが、女性なるが故に夫人に投票する婦人はまづ無い。

下院にある十一名の婦人議員の中、新法立案に或は下院の演説に或は委員會に或は衆望を集める事に、非常に顯はれてゐる者は無い。ルース・ベーカ、ルース・ブライアン、オーエンが次の議會に光るかもしれない、フロレンス・アレン判事がオハイオ州に名望がある等と言ふが、まだ大臣に任命された婦人は無い。

◇

婦人が政治に入つてゐる領分は實に僅である。地方的のものでも全國的のものでも、一黨の眞の首領となつてゐる婦人はない。婦人が政黨の内部に入らぬ中は婦人投票者の數は多くてもその政治に及ぼす影響は少いものである。婦人が權力ある黨首になれないといふ理由は――まだ十年といふ短時日しか經てゐないといふ事の他には――無い。一九二〇年以前の婦人参政權獲得同盟に於いて婦人クラブの聯合總會に於いて、婦人は立派に

その組織力を示してゐた。拔目のない政策に巧な婦人も少くはない。婦人なるが故に政黨を組織し政策を自由にする事が出來ないといふ筈はない。たゞ必要なのは時である。今後十年よりはもつと長い時が必要である。

政治家は政治を不斷の仕事とする。自分の信ずる主義に闘する時・又は、自分の信ずる候補者が立つた時だけ熱心になり、選擧が終るとすぐ忘れる者は素人であつて政治家ではない。政治家は選擧が終つても眠らない。今のところ婦人は政治の素人であるが、玄人の現れない筈はない。たゞ時の不足のため訓練されないだけである。選擧にあたり婦人の多くは政黨を考慮に入れず、候補者各自、或は或一政策に重きを置く。然し之は政治上の力を獲るの道ではない。黨としての政策を決定し、黨を代表する候補者を選定するに重きを置く事を學ぶべきである。

投票權を獲得するのは第一步である。第二は黨組織である。第三は公の地位を獲る事である。一九二〇年に第一步を踏んだ過去十年間婦人は多少步んだ。けれども第二、第三に於いて男子と同等になる迄の前途は未だ遠い。

◇

婦選論者の希望は十年間に十分實現されるに到らなかつたが、一方、反對論者におそれられた社會的の弊害は全然おこらなかつた。離婚は多くアメリカの家庭は完全ではない。然しいかなる婦選反對論者も之を婦人が一年に一、二回投票出來る事に因ると主張する者はない。政治上の意見の差が、夫婦別居の原因になつたといふ話もきかない。男女は結婚し、子を育て、家庭は一九二〇年以前と同じ程度には安全である。

道德が落ち家族の絆がゆるんだのは、選擧人の變化に依るのではなく、もつと重大な、經濟的社會的影響によるのである。婦選が家庭を破壞するのではない。婦人參政權の獲得と家庭の變化とは、合衆國以外の國にもおこつてゐる社會の根本的變化の二現象である。一九三〇年の統計によれば、合衆國に於いて一千萬人の婦人が利得ある職に就いてゐる。かく多數の婦人が生活の資を得んがため、家庭の外に出てゐるといふ事が社會を變へる第一の原因である。之等の婦人に參政權ある事はその原因とはならない。

今日婦人は家庭以外の生産者として、又家庭内の消費者として産業界に重大な地位を占めてゐる。種々の道により獨立した收入を持つ婦人の數は多い。婦人の經濟上の利害は政治問題に對する彼等の態度を左右する：これは男子に於けると同樣である。過去十年間、參政權をもつ事が婦人に産業界に於いてよりよき地位とより高き給料とより多き昇進の道を與

へたとは言へない。その點は非常に少い

然し、婦人の産業界に於ける地位が、彼等が投票し又其他責任ある成年者としてのすべての活動に加はる事を當然且必要とした。

機械文明の時代と呼ばれる近代社會は男女の利害と職業とを互に接近させる。生物學、生理學より見た人體の組織は、政治生活に關係ない。二十一歳の男子は四十五歳、七十歳になる時の自分とは生理學上からは異なるであらうが、政治上には何等の差はない。いつも一個の成年者であつて政治生活に參與する權利は確保されてゐる。生物學上の婦人は如何であらうとも、彼等は男子と同じく、成年者として思想家、勞働者、資本家、生産者、或は消費者としての機能を全うし、その利益を享有する。

兩性間に生物學上或種の差違が明なるため、政治上の權利にも差あるべしとの謬見が抱かれる。然し政治的狀態は人類の生物學上より見た不變の素質とは何等の關聯なく、絶えず變化する男女兩性の經濟的、社會的利害に應じて常に改造されるものである。

男女兩性の社會上のこの關係を明にした事に於いて婦選論者は大なる貢獻をなしたと言へる。十年間の婦人の投票は大して政治を改善しなかつたかもしれない然し婦人が參政權を獲得し、その權利を十年間平靜に行使した事が、「婦人の天職は家庭にある」「女性は男性に劣る」「婦人は男子より清淨なのだから政爭に害されてはいけない」などの妄信を破る事が出來たら、その効は大きいと言へるであらう。（カーレント、ヒストリー十月號より抄譯）

# 議會いろは手引

『議會は、今年は、いつから初まりますか』

『十二月二十四日に召集され、二十六日に貴族院で、陛下の御親臨の上、開院式が開かれる筈です。それから三ヶ月間――三月の廿五日迄あります。臨時の時は、その都度期間が決定されますが、通常の議會は三ヶ月と憲法で規定されてゐます。』

『此度の議會は第五十九議會といひますね五十九といふのはどういふ數なのですか』

『明治二十三年に初めて國會が開かれて以來の回數です。一年に二回開かれた事もあるので、五十九回目になるのです。』

『議會が開かれて最初何がありますか』

『召集されるとすぐ委員長、委員の選任をしますが、開院式後は年末、年始の休みになり、一月二十一日にならないと再開されないのです。

再開されての最初の議事は、首相、外相藏相の施政演説があり、それに對しての質問演説が政友會無產政黨其他からありませう。濱口、犬養氏の一騎打もある筈ですが濱口さんはそれ迄に回復は六ヶ敷しいでせうから、幣原首相代理が矢面に立つ事になりませう。何しろ此度はロンドン軍縮會議についての軍部と政府との問題、不景氣問題等大問題がありますから定めし賑ふでせう。』

『傍聽をしてみたいですね、傍聽にはどんな手續が入りますか。』

『傍聽券といふものが入ります。それに住所姓名を書いて持つて行けばよろしいが人數が多いので早く行つて並んでゐないと這入れません。それにその傍聽券は代議士か議長からでないと貰へませんから込み合ふ日は一寸面倒ですね。普通の日でしたら傍聽券を貰つて差上げます。貴族院の方でしたらあまり込み合はないからいつでも大丈夫です。』

『議會は何時に始まりますか』

『貴族院は午前十時から衆議院は午後一時から六時迄が普通になつてゐます。但し毎日でなしに貴族院は月水金、衆議院は火木土で日曜は休みとなつてゐます。尤もこれは本會議の事で委員會は午前にも午後にも始終開かれてゐます。』

『本會議、委員會といふのはどんな區別がありますか。』

『本會議といふのは議員全部が會合して協議するのですが、委員會といふのは小人數で問題別に組織されて審議するのです本會議は傍聽が出來ますが委員會は新聞記者でないと這入れません。』

『議會で議事が審議される順序を一度說明して下さいませんか。』

『法律改正の場合で申上げてみませう。

1、第一に本會議に於て議案を朗讀した後國務大臣政府委員又は提案者たる代議士から趣旨を說明する。

2、これに續いて政府或は提案者への質問がある場合とない場合がある。

3、次は大てい委員附託になる。委員は奇數で議長指名といふのですが、按分比例で各政黨に割あてられる事になつてゐます。

4、委員會では委員長を互選した後、協議に移り政府委員や提案者の說明も聽取し、質問應答も行つて討議に移り原案のまゝなり修正したものなり委員會としての決をとります。

5、委員會の結果は委員長から本會議に報告されこれに對して反對、贊成の討論があります。

6、こゝまでを第一讀會といひ、こゝで第二讀會を開くべきや否やをはかります。

7、ここで異議なしといふことになると第二讀會を開くに決しましたと二讀會に移されます。第二讀會では字句の修正をし第三讀會では全部を一括して審議の上可否を決するのが順序となつてゐます。

8、但し大ていの場合第二讀會に於て委員會修正通り異議なしになり更に第三讀會を省略して二讀會の決定通り可決確定されんことを希望しますとの進行係の發言で

9、異議なしといふ聲が多ければこのまゝ可決されるが、贊否不確定の場合には贊成者の起立、若しくは點呼の上、記名或は無記名で投票をする—所謂堂々巡りをして贊否の數を調べます。

これがざつとの衆議院を通過するまでの順序です。」』

『衆議院を通過した後はどうなるのですか』

『衆議院議長から貴族院議長宛に、衆議院を通過した案を送ります。貴族院での議事も衆議院と全く同樣です。』

『貴族院を通過すればそれで法律としての效力を生じますか』

『いや、まだ生じません。陛下の御裁可のあつた上、官報で公布されなければだめです。それも施行期日は勅令によつて定むといふのであれば其の時までだめです然し大ていは公布の日より施行すといふことになつて居ます。』

『貴族院で修正するといふ場合が、ありませうね。其の場合はどうなりますか。』

『この場合は、修正したものを更に衆議院に回附して其の同意を求むることになつてゐます。』

『法律案の外に建議案といふものがありますね。それはどういふのですか』

『建議案といふのは、衆議院若しくは貴族院が法律の制定其他について政府へ建議をするものです。これは大ていの場合說明も省略され、委員會にもかけず本會議で直に贊否が決せられます。但し可決されても政府に建議するだけですから何の效力もありません。』

『請願といふのはどうです。其の效力はどうですか。』

『請願は法律案建議案とちがつて人民が直接議長宛に提出するものです。但し矢張議員の紹介がなければだめです。議會に出した請願は請願委員會に於て、紹介議員の說明の後審議され、採擇、參考送附不採擇とそれ〴〵決定して、議院に報告するだけです。尤も會議で議決の上、政府へ送附されることもありますが、建議案以上に何の效力もありません。請願の效力は議會よりもむしろ請願に署名捺印することによる敎育的價格にありませう』

——研究欄——

# 公民教育の客觀的研究

小泉郁子

## (1) 公民權を迎ふるのそなへ

靑年期の夢の様に淡く朧に映つてゐた公民權の幻像が日と共に近く、はつきりと現實の姿をとつて我等に歩み寄らうとしてゐる吾等は一面に待ち佗びし戀人を迎ふる如き心のときめきをさへ感ずる。戀人に逢ふ日の備へ！それは單にセンチメンタルに興奮のみであつてはならぬ。我等の戀人を失望させぬ様、といつて無暗に虛勢を張つて逸早く幻滅の悲哀を感ぜしめぬ様、眞實と希望と努力とに充ち溢るゝ姿を以て來らんとするものを迎へ、來るべきものと逢はねばならぬ。我等がそれによつて雄々しく立たうとする新生への門出の準備が今や夜を日に次いで營まれなければならぬ。公民權の授受―獲得は正に前代未聞の盛事劃時代的の大典である。式典の準備に一點の落度粗漏があつてはならぬ。時代は新らしい。我々の裝ひは當に新時代を象徵し新時代のスピリットを發揮するものでなければならぬ。因襲に囚はれず傳統に制せられず、虛禮を廢し形式を脫却し最も科學的に合理的に、寔に新生に入る人にふさはしく我等の言動の凡てに透徹せる理智と崇高なる情操と堅貿なる意志とが盛られてあらねばならぬ。「我等何を爲すべきか」について明瞭した觀念と自覺とがなければならぬ。

## (2) 客觀的研究のメソード

十月號の婦選には「私の求める婦人の政治教育施設と方法」といふ題の下に如何にして公民知識を獲得すべきかに就いての諸名家の說が揭げられてあつた。中には非常に適切な案もある様に思つた。が然しそれと同時に幾分か客觀性が缺けて居るといふ感が無いでもなかつた。私がこゝで客觀性といふのは即ち示されたる諸案の客觀的價値―これ

は、この問題に對し、この問題に近づき、この問題を處理すべく科學的方法を通して獲得せらるゝ——の缺如といふ事である。科學的方法とは科學的思索の手續をとつた行き方の謂である。由來、女子は主觀的ドグマ的であり、また模倣的追從的であるとも云はれあらゆる非科學的な性情が悉く女子の本性であるかの如く見られ、考へられて來た事は眞に遺憾な事である。我々はこの際、是非、我々の態度を新にし科學的なものに轉換しなければならぬ。

　科學的思索の手續きは常に假設を一つの指導者として用ひ、これを廣汎にして客觀的觀察及實驗を通して評價して行くものである。而して萬一實驗觀察の結果が假設と一致せざる時は、其の假設は無用のものとして廢棄せられるるか、又は更に擴大された論據を用ひ新たなる觀察實驗を通して再吟味しなければならぬ。科學的思索なる從來の哲學的思索からくる、先驗的空論でなく現實に卽し事實に立脚してそこから一つの公正なる普遍性を帶びた理論が產出されさらにその上に理想が築き上げられなければならぬ。故に科學的メソードとして第一に爲さるべき事は、理論の根據となるべき材料の蒐集であり第二はこれを精確に分解觀察する事、第三はその結果を論理的に排列することと最後にこれを正しく飜譯し意味づける事である。故に今、これを公民教育の方法の問題に對して當て嵌めて考へる時、吾々の研究の第一步は過去或は現在に於て規定され或は實現されて居る公民としての社會活動の全般に亘つて精細公正なる觀察分解分類でなければならぬ。それに依つて公民としての責務、資格、及理想等を發見、考察、建設してゆくと同時にその教育方法が議案さるべく可能となつて來るのである。

## (3) 公民教育の主題構成の準據

　叙上の見地から婦人に對する公民教育の責にあたるものは、その目的及內容を限定するために、先づ我々の社會を直視しそこに存在をもつ我々社會人及公人としての活動を質的に量的に調査しそこから公民教育に必須なる諸問題を發見構成しなければならぬ。唯々社會調査といつても之を的確に云へば第一我々自身の直屬する地方自治團體調査、第二に同種類同單位の他の團體との比較研究、更により包括的な國家及國際的團體の研究さへも、或は直接に或は間接に、我々の視野に入つてこなければならぬ。さうした目的達成の爲には少くも左の諸方面がある。

A　地方團體事情の實地見學。—特に政治的經濟的敎化的、公益的、慈善救濟的、娛樂的團體施設の調査である。これ等については、常に、これ等の團體の目的、並に標榜する所を明にし、その實際活動に於ける長所及短所を批判的に探究しなければならぬ。

B　新聞雜誌、其の他の定期刊行物の分解的研究。—新聞雜誌の記事は、朝夕に變化する。我々はその中から直接生きた問題を捉へて行かねばならぬ事は勿論であるが、その中にも、單に一時的の現象でなく、より頻繁に紙面に現はれる永久的に價値のある問題に觸れなければならぬ。

C　一般社會人によつて示された特殊の問題に對する態度或は批判の研究。—大衆の心を知る事は政治の根本問題である。これは一般投票或は質問書の發送等の方法によつて爲される。

D　地方及中央議會に現はるゝ諸問題の研究。—問題の內容及各政黨の態度を批判的に研究しなければならぬ。

E　模範公民の人物批判。—政治家として或は社會團體の指導者として、乃至は一般公民として良くその責を盡したる人物の解剖で、それによつて我々は公民としての人格的實務的敎養の標準を見出すことが出來る。

F　公民的活動に對する各專門家或は思想家の諸說研究。—主として、著作を通しての硏究である。特に我々はその說の性質—過激急進、穩健保守—妥當性を批判研究しなければならぬ。

G　法規に關する解釋研究。—公正なる解釋、適用についての研究である。

斯うした樣々の方法によつて蒐集把握せられた材料、問題を適宜に構成排列して一般婦人の敎養に資せられなければならぬ。

## (4)　公民敎育の方法

問題は斯くて今、直接、十月號に於て論ぜられた、「公民敎育の施設及方法」といふ事に入つて來るのであるが、それに就いて先づ考へらるべき事は、敎育と云ふものに對しての根本的觀念である。所謂新敎育をリードする今日の敎育哲學は敎育の目的は被敎育者の自己實現及其の完成であらねばならず、敎育者の責務は被敎育者の自發的活動を指

導幇助するものであらねばならぬとする。之れは從來の形式的注入主義の教育に反駁して立つたものである事は云ふ迄もなくそれによつて被教育者を消極的受身的の立場から積極的能動的のそれに轉換したものである。

婦人の公民教育に際しても先づこの態度、活動的教育學習方針が設定せらるゝのでなければならぬ。次に考へらるゝ問題は教育のプロセスの社會化といふ事である。個人々々に相離れて讀んだり考へたりするのでなく相當多くの人と相寄り相會して意見を交換し共同勞作による研究をなす事である。私はこの形式それ自身が已に公民權行使の訓練だと考へる。

斯うした見地から、私は公民教育の施設が最も科學的に合理的に有効になされなければならぬと思ふので、今、簡單に諸家の各種の提案に對して少しく批判を加へる事をゆるされたいと思ふ。

第一に「きく會」と、ある方が云はるゝ様な―例へば專問家の講演、或は、ラヂオを通じて聞かるゝ講話といふ様なものは綜合的に聽衆に或る印象を與へ感情を喚起して行く事は出來ても、それ自身的確な知識として聞くものに獲得されて行くか否かは保證の限りでない。又連續した組織的な講義と云ふものも、形式に惰し單調に流れ易く、試驗でもない限りは聽講者の知識系統の中には入つて來ない。

第二に「讀む」、或は「讀ませる」といふ事は最も廣く、多數の人々によつて公民教育の手段として考へられて居る様にも見える。就中、新聞雜誌（特に婦人雜誌）の利用、パンフットの頒布等は常識的にも逸早く考へらるゝ事である。其他教科書の使用或は適宜の書物廻覽といふ事もリストの中には見えてゐる。然し讀むといふ事もその讀方及材料の如何によつて効果の上に非常な相違がある。讀んで知るといふ事は必ずしも有効な公民教育となるとは限らない。讀んだあとに、それを考察し批判する所迄ゆかなければ、知識は生きて來ない。これは聽く場合に於ても同様である。讀んで讀み捨て、聽いて聽き捨てゝは、殆ど無駄に近い。

第三に「見る」といふ事は前二者より遙に印象の深いものである。學理的にも兒童教育に於てヴイジュアライズするといふ事は最も効果的な教授法とされて居る。或る方は特に議會の傍聽といふ事を提案されてゐるが、その外政治に關聯して百般の政治的、社會的、經濟的、教化的、公益的團體事業の參觀見學といふ事は政治教育の内容を豐富にし有

効にするため至要の事である。而も、それ等の參觀行爲に於ても、直後の批判の必要な事は云ふ迄もない。

然し叙上の諸方案に増して最も有効と認めらるゝものは被教育者の自發的、全人格的活動を促進助成する、團體的行動即ち研究會の組織である。佐々城松榮氏によつて提案せられた研究會或は和田邦子氏の擬町村會の如きもそれである。然し私の提案する研究會は單に會のリーダー或は少數幹部員のみが勞役に服し他の會員は賓客扱ひにされる様な有り來りの貴族的研究會とは性質を異にし、會員一人々々が必ず各自の部署に就き事務を分擔し積極的研究活動に參加するものでなければならぬ。この故に會の大さは二十名位を以て限度としなければならぬ。そして一市町村の各所に極めて簡單に容易に會合を持ちうる小規模のものを組織する事が効果的である。(勿論、一市町村にては之れを連絡統一する器關の必要な事は云ふ迄もない)。而してこの小研究會は凡ての研究をそれ〴〵纏つた問題解決の形式によつてすゝめられて行かねばならぬ。

そして出來得る限り會員の各自が輪番交代に司會者の責を負ひ、當番の研究會の効果的進捗をはからんが爲に豫め協議によつて問題の內容を設定し會員各自にその分擔を與へ準備研究をなさしめ、自由なる討議を可能ならしむべく手配しなければならぬ。即ち問題討議の前提としては見學よし、讀書よし、聽講よし、様々の形式を通じて會員各自に豐富なる知識論據を提供することが必要である。婦選十月號に掲げられた市政研究座談會「保健衛生の卷」の如きはその研究形式に於て(前號から連續研究として)、模範的なものと云へやう。然し座談會といへば幾分單にその機に觸れて意見を發表し、話し放しに終り易い傾向もある様に思へるが、研究會はあくまで研究會として、討議の後には明瞭な形に於て決議がなされ、その問題に對する態度市民としてその問題にいかに共同奉仕をなすべきかの態度を聲明しなければならぬ。

かうした研究會は公民教育を單に概念化した知識の形式的注入でなく、すべての知識を具體化し血と肉とを與へ、生けるものとして體驗の世界に誘導するもので、殆ど公民權行使の實際的訓練の機會ならしむるものである。又、かうした訓練は、婦人をして男子より獨立し、自らの理智により自己を支配し自己の運命境遇を開拓し進んで新らしき社會文化への建設に役立たしむるものと信ずる。

婦選講座

# 昭和六年度豫算の批判

中外商業新報
經濟部長　小汀利得

十一月十日夜文化學院に於て開催された、婦選獲得同盟政治教育委員會主催の第一回婦人時局問題研究會に於ける講演の大要を筆記したものである。挿入の數字と對比して讀了されたい。校閲を經るいとまがなかつたので文責は筆者にある。

## 緊縮豫算ではない

昭和六年度の豫算は、愈々明日の閣議で決定の上、豫算概算として發表される筈である。

その概算が公債發行額と一所に來る十二月廿四日に召集される第五十九議會に提案され、兩院で審議の上適當に修正されて通過決定をみるのである。

明年度豫算は十四億四千八百萬圓で・今年度よりも遙に少額である所から、極めて緊縮されたよい豫算の如く提灯を持つてほめてゐる新聞が多いが、それはうそである。

今年の豫算は現内閣が三度實行豫算として編成替をしたが、議會で協賛を得た昭和五年度の豫算（政友會内閣によつて提案、昭和四年三月廿五日議會を通過した四年度豫算である。五年度豫算は、議會解散のため不成立に終つた爲め前年度のを踏襲したのである）は、十七億七千三百萬圓であつた。

昭和五年が十七億七千三百萬圓だのに昭和六年が十四億四千八百萬圓だといへば、數字上では確かに三億二千五百萬圓減少してゐる。然し表面の數字だけで緊縮豫算としてほめる事は出來ない。

豫算額減少の第一の理由は收入が、著しく減少しさうなためである。不景氣の結果税收入が、昭和四年度よりも一億四千萬圓も減少してゐる。それに今年度の剩除金も全くなく、減債基金に繰り入れる所か、追加豫算、第一、第二豫備金を費消しても尙足りない程である。

その上、借金のない豫算を標榜してゐる關係上、公債の收入が全くない。四年度の豫算には一億八千萬圓の公債が計上されてゐたので、それだけは當然減少していゝ譯である。

從つて六年度の豫算概算が十四億臺で

あつても大して減少したことにはならない。

尚五、六年度の豫算を比較する場合に見逃してならないことは物價の下落である。五年度豫算が編成された當時（昭和三年）の物價指數（明治三十三年十月に於ける物價を、一〇〇として計算する）は二二九、七であつたものが、今年の十月は一六四、六になつてゐる。即ち五年度豫算の編成當時に比較すると三割下つてゐる。

従つて物價が安くなれば當然豫算額も減少する筈である。

## 軍事費が多すぎる

昭和六年度の一般會計の總豫算を見ると、左の割合になつてゐる。

| | |
|---|---|
| 軍事費 | 二七％ |
| 國債元利金償却 | 一七％ |
| 一般行政費 | 五三％ |
| 皇室費 | 三％ |

### 昭和六年度豫算概算
（十一月十一日の閣議で決定）

一般會計歳入出

| | | |
|---|---|---|
| 歳入 | 經常部 | 一、三九一、一八五、八九二圓 |
| | 臨時部 | 五六、八一六、六四四 |
| | 合計 | 一、四四八、〇〇二、五三六 |
| 歳出 | 經常部 | 一、一八一、一〇三、四四二 |
| | 臨時部 | 二六六、八九九、〇九四 |
| | 合計 | 一、四四八、〇〇二、五三六 |

各省別歳出豫算（單位千圓）

| | 經常部 | 臨時部 |
|---|---|---|
| 皇室費 | 四、五〇〇 | — |
| 外務 | 一五、一七五 | 二、四〇八 |
| 内務 | 四四、六四三 | 六二、六二九 |
| 大藏 | 三一〇、七〇〇 | 一三、五六八 |
| 陸軍 | 一三七、二七五 | 一六、一二七 |
| 海軍 | 一四三、二六三 | 六八、〇四八 |
| 司法 | 三一、三五九 | 五六七 |
| 文部 | 一三一、三三〇 | 七、四四四 |
| 農林 | 二八、七九〇 | 二六、〇三九 |
| 商工 | 四、九一〇 | 六、〇〇八 |
| 遞信 | 二九二、三一七 | 四〇、一二七 |
| 拓務 | 二、四〇七 | 二四、九二八 |
| 合計 | 一、一八一、一〇三 | 二六六、八九九 |

軍事費が非常に多い事は此度の豫算だけではないが、陸軍の整理緊縮を公約しながら少しも實現されてゐない。

伊、佛、米、獨は何れも傭兵制度だと記憶してゐるが、それでありながら、軍事費は、伊二四％、佛二二％、米二一％獨七％といふやうに日本より少い。

かやうに日本が軍事費が多いのは、軍閥の影響壓迫に外ならない。全く日本に二十一ケ師團の必要はない。所がその師團を減少すると軍人の失業者が出來るが軍人は融通がきかないから生活に困る。結局軍閥をもり立て縮少に反對することになる譯で、これも一種の形の變つた爭議といふことが出來る。

そこで彼等をして安んじて軍備縮少に贊成せしめることが根本問題となるが、そのためには今日の經濟的行づまりを打破しなければならない。私共は金の輸出を再禁止して新平價による解禁を行ふより他に途がないと信じてゐる。

## 行政の根本的整理が必要

大正十三年の調査によると日本には四十萬人位官吏がゐる。大正七八年の好況時代には官吏から民間に還入つたものが、相當あつたが、最近は殆どない。此頃の樣な時になると官吏は一番割がいゝ。

官吏も軍人と同樣にやはりピラミッド型で上に行く程少くなるので、絶えず必要のない官廳の擴張を考へ出す。此度も商工省に貿易局を新設することが盛に主張された。工業試驗場、水產試驗場といつたものの如きは殆ど縣に一つ宛位あるが、そんなに必要はない。殊に此度のやうに豫算が緊縮されると人件費はへらされないので、結局水產試驗場についていへばメダカの養殖費として五百圓位しか殘つてゐないといふ状態になる。これは私が伊勢崎へ講演に行つた時のことであるが、島根縣の技手が來て、同縣では每年八百萬圓の織物を縣外から輸入してゐるから、自給自足とするため縣下に織物業を盛にしたいとて調査をして行つたといふ事をきいた。これではまるで封建時代そのまゝである。小さい日本の國の中でそんなくだらないことを考へ、そのために時や金を使つてゐるのは全くあきれてしまふ。然し官吏が多くなるとこうした必要のない、否有害な事を初める。

知事の如きも新らしく赴任すると大てい商業學校や中學の一つ二つをつくる。埼玉縣でもその例にもれず今年の四月から中等學校をいくつかつくつた。所が入學者が殆どなかつたといふ話である。

全く現在の日本は官廳が多過ぎる、官吏が多過ぎる。根本的な大整理をする必要がある。

行政の整理としては大正三年山本權兵衛内閣の時に局課の廢合を行つた事がある。その後では大正十三年加藤高明内閣—藏相は現濱口首相—の時に行はれた。然しへつたのは其年だけで翌十四年には前と同樣の人數に增してしまつた、結局七百萬圓の退職手當を餘分に支出した結果になつてしまつた。

尤も官吏で首を切られゝば恩給で食ふか、囑託となるより外に途がない。一度整理してもまた元に返りやすい。つまり經濟的に出路がない。これは今日の政治界の大きな問題である。

これを解決するには經濟界の狀態をよくし、産業をおこすことが根本的に必要であるが、それには前に述べたやうに新平價によるより外、途がないと思ふ。新平價によれば六十億の國債が三分の二になるし、その利息も三割へる。然し、新平價論を稱ふるものは宛も國賊の如くにいはれてゐる。——新平價論については

別の機會に詳細に御話したいと思ふ。
然しそれはとにかく、日本の行政は大整理を要する。先づ府縣といふものは全廢して道をつくつたらいゝと思ふ。昔の京畿道とか奥羽道とかいつた工合に。それから中央の行政機關としては、拓務省の必要はない。文部省も教育局で澤山である。農林商工を分けるに及ばない。遞信と鐵道、陸軍と海軍は各々一省で差支ない。從つて現在の十二省は、
内務、國防、外務、交通、大藏、產業の六省で充分である。それに局長の如きも不必要である。
現内閣はこうした根本的な行政の整理には少しも手をそめてはゐない。僅に人件費一割天引、賞與皆無といふ方法をとつたに過ぎない。天引といふことになると、事務官以下の屬官に、しかも感情によつて適用され易い心配がある。廳費の節約といふのも結局は、囑託員、雇員の首に關係して來る。その點からいへばむしろ一般的減俸の方が公平である。

**租税收入豫算昭和六年度對四年度比較表**（千圓）
（十月二十四日藏相が閣議で發表）

| | 四年度豫算 | 六年度概算 | 增減率（%） |
|---|---|---|---|
| 所得税 | 二〇二、六六四 | 一六三、五六五 | （－）一九・二九 |
| 地租 | 六七、八〇九 | 七一、四五〇 | （＋）五・三七 |
| 營業收益税 | 六一、四二〇 | 四六、二〇七 | （－）二四・七七 |
| 資本利子税 | 一五、八二二 | 一五、九五六 | （＋）〇・八五 |
| 相續税 | 三三、九五一 | 二九、〇六六 | （－）一三・〇〇 |
| 鑛業税 | 五、六五三 | 四、九六三 | （－）一三・一九 |
| 兌換券發行税 | 四、九三六 | 八、〇〇〇 | （＋）六二・〇七 |
| 酒税 | 二三四、六三七 | 二一〇、八〇七 | （－）一〇・一五 |
| 清涼飲料税 | 四、〇〇八 | 三、七八一 | （－）五・六六 |
| 砂糖消費税 | 八二、七九七 | 七六、八四三 | （－）七・一九 |
| 織物消費税 | 三九、八七九 | 三二、六六〇 | （－）一八・一〇 |
| 取引所税 | 一一、三四三 | 八、四八〇 | （－）二五・二四 |
| 關税 | 一五〇、二九六 | 一二一、七二〇 | （－）一五・六六 |
| 噸税 | 二、二〇〇 | 二、四五六 | （＋）一一・六三 |
| 合計 | 九〇九、四〇六 | 七八六、六二〇 | （－）一三・五〇 |

**新規要求削除、繼續事業打切りは不當**

政府は節約の方法として新規要求は全部削除し、一方、繼續事業の打切り乃至は繰りのべといふ方法をとつたが、これは極めて拙劣なやり方である。
國家百年の大計を考へれば、社會事情の變化進步に伴つて年々新らしい適當な方策をたて、之を實現すべきであるのに昨年來の公約である軍備の削減をしないで、新規要求を認めないといふのは無法である。
外務省の新規要求として公使館及領事館費として二十七萬圓計上されてゐるがその中の十萬圓は東アフリカのモンバサに總領事館を設けやうといふ費用にあてられてゐる。モンバサは最近輸出入に於て我國と非常に密接な關係があり、どうしても必要である。
繼續事業の打切り繰り延べといふ事は主に河川、港灣の修築が多い。それ等は何ヶ年間の繼續事業として年度割で割宛られた豫算で工事を繼續してゐるものである。――尤もこれ等は河川のふちの土

地を持つてゐる地主が河川法によつて家屋等を建てることが出來ないため堤防を築かせる事によつて土地を賣りつけるために、無理に行はれる場合が多い。

不景氣の時には仁德天皇以來、土木事業を計劃することになつてゐるのに、それを打切る法はない。尤も政府としては一般會計で、こうして名目上だけで節約したことにし、別に失業公債——二億圓位の豫算で出して、打切つた河川の修築をやる積りらしい。これは一つのトリツクで悪い結果を生ずる。第一に今迄使傭してゐた勞働者を失業者として追出してしまふ。從つて熟練勞働者がなくなるので能率が上らなくなる。國家的にいつても非常な損失を來すことになる。然し資本主義國家としては極めて巧妙な方法である。

## 歳入見積過大

歳入が著しく減少してゐると前にいつたが、その歳入の見積を一つ〳〵調べて見ると、非常に多過ぎるのがある。

租税の總額では、昭和四年度に比し一億二千三百萬圓（一割三分）減少してゐるが、地租資本利子税、相續税、兌換券發行税、噸税等は何れも增加してゐる。噸税は船が港に這入つた場合一噸についていくらとるのであるが、來年度は十一%も多く見積つてある。此の不景氣ではへりこそすれ增すとは考へられないのである。

こうして見積を過大にすれば無理でも取り立てねばならなくなり、結局苛斂誅求といふことになる。現に文士等の所得の見積りが非常に多くて皆困つてゐる。

この結果は、來年度の年度末になつてから少なからぬ不足を生ずるであらうと想像される。

こう見て來ると昭和六年度の豫算は、緊縮豫算どころか大澎脹豫算で、然も、其の見積過大な點に於て極めて不安定な豫算といはなければならない。

## 減税額が少い

これは昭和六年度の一般會計の豫算とは全然別であるが、昭和五年度の豫算で艦艇の補充費として五億八百萬圓留保されてゐた。これがロンドン軍縮會議の結果他に流用出來ることになつたのであるが、海軍の方では制限內及制限外の補充計劃のために澎大な額を要求して來た。然し政府としてはこれを減税にあてると宣明して來た關係上、軍部のいふなりになる事は出來ず、やつとでその內の一億三千四百萬圓だけを減税にあてることゝした。尤もこれは昭和六年度だけではなく、昭和十一年度迄の六ケ年間の總額で六年度九百萬圓、以後十一年度迄每年二千五百萬圓宛といふのである。減税の種目は、地租、營業收益税、砂糖消費税、織物消費税の四種であるらしいが、明年の租税の總額は八億圓程であるから九百萬圓では百分の一の約一厘しか減税にはならない。之では全く意味をなさない。

## 婦人戰線展望

今月も亦悠り書くスペースが貰へませんから來月までのばせない事だけかきます。

### —無產婦人團體に—

對議會運動の共同鬪爭委員會が成立しました。大衆黨系の無產婦人同盟の提唱に、社會民衆婦人同盟が賛成し、これに社民黨婦人部大衆黨婦人部が加はり、徹底婦選獲得共同委員會と稱し、事務所を芝の社民館內におき、十一月廿九日夜神田女子青年會館に第一回の演說會を開く處迄進みました。社民側は赤松明子、阿部靜枝、大衆黨は堺眞柄、織本貞代、岩內とみゑ氏等が中心になつて、社民大衆の二黨選出の無產議員團とも連絡をとり大に對議會運動をやるさうです。所が

### —各婦選團體間—

の共同運動の方は、婦選獲得同盟提唱のものを一度は否定し乍ら、其後、婦人參政同盟は改めて參加の意志を表明し、進んで日本基督教婦人參政權協會を說きましたが、同會は懇談會說を主張して、ゆづらず、まだ力づよい共同鬪爭機關が設置されるに到らない事は、非常に殘念な事です。この事については、婦選贊成の議員間にも遺憾と思はれてゐる樣です。偏に參政權協會の猛省がのぞまれます。

### —最右翼團體と—

見られてゐる、婦人同志會は、十一月八日第一回大會を開き、安達內相も出席祝辭をのべ、濱口首相、犬養政友總裁の祝辭も代讀されました。民政色濃厚などの噂を顧慮してか、政友派夫人の獲得に努める模樣で、當日も內相、文相夫人と共に、三土前藏相夫人や、靑木信光子、水野錬太郎氏夫人も參加し、井上、吉岡、山脇、嘉悦、大妻ガンレトツト各夫人を初め三百餘名。「家庭と社會とを有機的組織の內に融合し、精神的道德的向上を希ふ爲に制限案に反對し、同時に參政權結社權をも來議會に實現を期す」旨の聲明書が發表されました。

### —宗教的立場による—

婦選團體たる參政權協會は、會費年三十錢、十人一班委員制度で、母體たる矯風會法律部と提携、會員已に千四百名に達したと稱し、久布白氏陣頭に立つて各地遊說に遑ないが、不幸久布白氏は最近病床に倒れました。後には千本木氏が、十二月末第二號會報發行に意氣込んでゐますがガントレツト氏は同志會にも加はり、この二團體の接近がかなり興味を以て眺められてゐます。

### —その他の方面では—

國際聯盟協會の婦人部が新設されました。部長は本野久子、常務委員が吉岡、山脇、井上、ガントレツト、石井たま子の五氏で、嘉悅、大江、木內、門野りよ子

各夫人も參加、正に第一流の婦人を網羅したといへるかもしれませんが、こんなにいくつもかけ持しても大丈夫なのかと心配させられます。一方

——國際聯絡婦人委員會——

といふ、同様な使命の下に一足先に結成された團體があり、これにも、井上、吉岡、ガントレット氏等は委員ですが、同時にこの方には、辻松子、星野愛子などの女子青年會側の錚々たる連中が並んでゐます。一體聯盟協會のおぢさん達は今頃何と思つてこういふ會もある所へ、婦人部を作るのかといつて居る向も尠くありません。

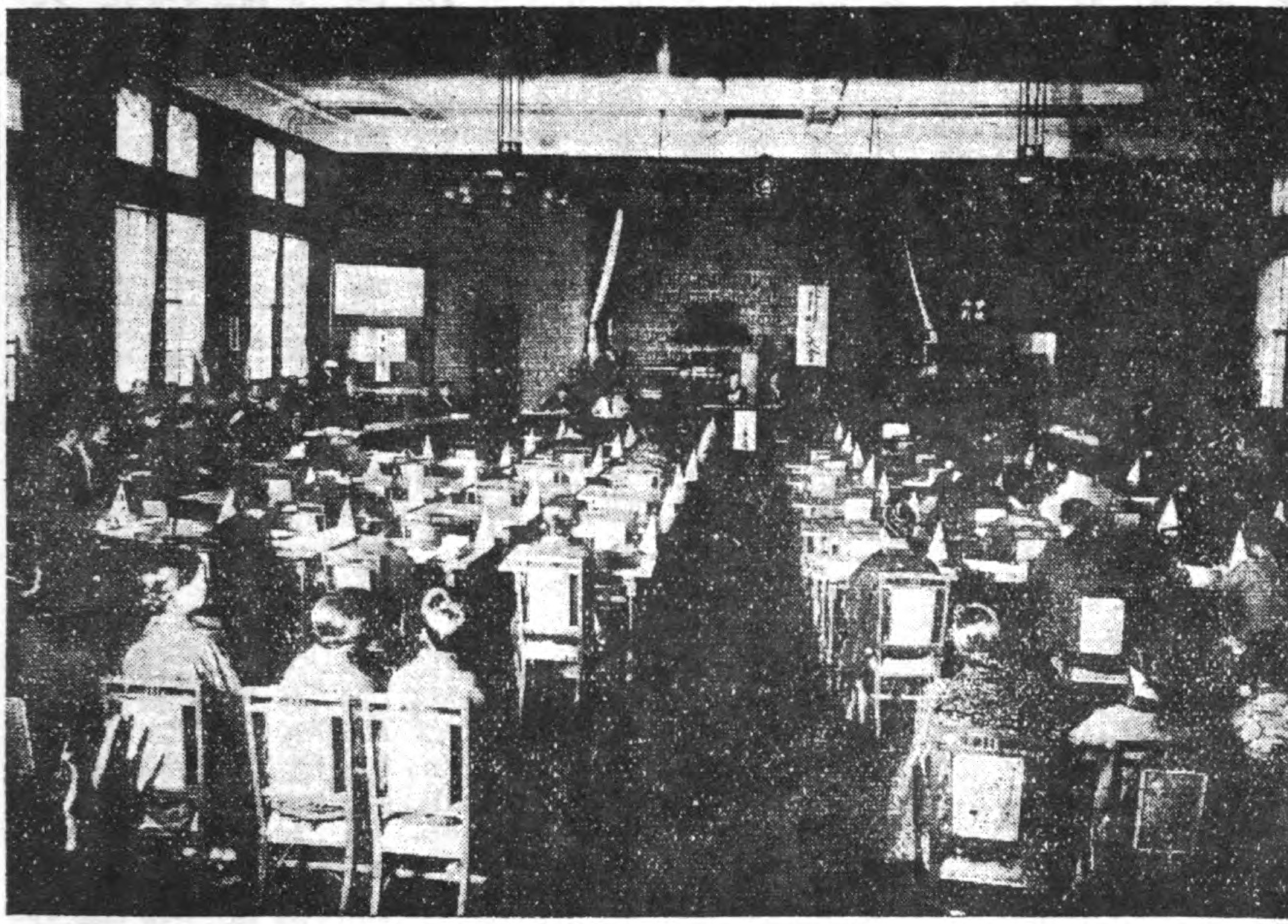
——女の學校騷動が——

頻々として起ります。前月末に起つた私立日本女子大學の盟休は、一時中々强硬でありましたが、最後は矢張蛇尾に終つたやうです。麻生校長派とその反對派との黨派爭ひにからんだ生徒が可愛想だといふ話も傳へられてゐます。中心になつた生徒六名は責任を負ふて自ら退き、心の底をかいて提出したといふ事です。

東京女子齒科醫專のは、一度納まりかゝつたのに、學林側が犠牲者を出さうとした爲に、又々ぶり返し、一寸解決の曙光が見えませんが、何れにしても、第三者からみると、學生側の三分の方が正しく見えるのはどうしたものでせう。

——一九三〇年も——

暮れます、この慌しい歳暮氣分の中に、東京では市主催のバサーに貴婦人連が出動したり、内相夫人等が政府米の廉賣をやつたり、それ〳〵歳暮氣分を濃厚ならしめてゐます。こんな事でいゝのでせうか、來年はどんな年が來るのでせうか。とにかくこゝ迄はことしの表面に現はれた動きです。



# 北陸婦選大會決議

## 第一

本大會は來る第五十九議會に於て完全婦人公民權の兩院通過を期しこれが實現のため左の如き方法をとる事を決議す

一、政府當局に對し完全婦人公民權案並に結社權案として提案するやう要求すること。

一、兩政黨並に北陸四縣選出の兩院議員に對し完全婦人公民權案並に結社權案の通過に努力することを要求すること。

一、北陸四縣の縣會に對し完全婦人公民權案並に結社權案を政府案として提案するやうに內務大臣に建議せらるゝことを要求すること。

一、北陸四縣の各婦人團體に對し完全婦人公民權並に結社權獲得の爲に努力することを要求すること。

## 第二

本大會は婦人公民權及婦人結社權の獲得のみに滿足せず一日も早く婦人參政權を獲得せむことを期す。

## 第三

本大會は我國の現下の狀勢に鑑み婦人の公民敎育を必要と認めるをもつて左の決議をなす。

一、文部省に於ては女子の學校系統に必須科として公民科を課すること。

一、內務省に於ては各府縣市町村の自治團體をして婦人の爲に公民敎育講座を屢々開催せしめ又公民敎育に關する印刷物の配布をなさしめること。

右要望す。

昭和五年十一月三日

北陸婦選大會

# 北陸婦選大會の記

鈴木澄

## 開會までの饒舌

十一月三日天氣晴朗……と云ひたいところなのだが、どうして、北陸特有の晩秋から初冬へかけての、あの冷めたい雨が、しと〳〵〳〵と朝から降りやまうともせず、十二時近くなつてからアラレさへ交つて、火の氣のない公會堂のホールは、骨の髓までしみ〴〵と寒い。開會の時間は迫るし、準備はまだすつかり調はないし、寒さは寒し皆んな興奮した顏をして、冗談も出さずに、代議員のテーブルに三角型の番號表をたてたり、プログラムの張り出しをしたり、金澤支部の方達の家で丹精された秘藏の菊の鉢々を場内の彼方此方に飾り立てたり、女の會らしく『コツチのテーブル掛とまんなかのとの色の釣り合ひがとれない』と云つてかけてあるテーブルかけを取りかへたり姑や小姑が集つて、家の嫁女の嫁ぶりに腐心する。市川、金子氏が姑なら、その他我々一同小姑格と云ふところ。而もこの姑と小姑は開會と同時に嫁女の魂となつて、新しい時代へのよき嫁ぶりを示めさなければならないし、諄いけれど嫁でありながら又姑小姑に返つて……と云ふよりは寧ろ嫁即姑、小姑、姑、小姑即嫁で今日の北陸婦選大會の嫁ぶりを完成させなければならないわけ、まことにどうも急しくも御苦勞な次第。殊に今日これだけに調へるための金澤支部員方達の御勞苦を伺ひ、そして實際に見て、中央にある者達は再省三省猛省すべしと肝に銘じて、武田睦子氏と顏を見合せて赤くなつたり、思ひ入れよろしくあつたり……あんまり働かない自分達が辱しいので、テレくさくてこんなふざけたやうな書き方をしてしまつた、けれど、この點は本當に眞面目に眞劍に中央に席をおく皆が考へなければならない、殊に中央委員の席を汚す者の反省すべき點だと主張するこの稿の最後までわざ〳〵開き直て『金澤の皆樣いろ〳〵……』なんて御挨拶は書かないけれど、この主張が同時に金澤支部員に對する感謝の辭である事をことわらせて欲しい。

閑話休題――いやこゝの『さて』は閑話休題などと云ふ字を書いてはいけないので……いやこれは止めやう。都會に住んでゐるばかりに感情が直截に進まず半

勝九十九折式に、一つ一つの氣持を説明したくなりすぎて、それも金子茂式に上手な「饒々」になれば申分がないのだが——本當に今度こそ止めて——。

## 天晴れ名議長

午後一時すぎて定刻よりやゝおそく北陸婦選大會は開會となる。代議員五十名なのだが、天候の加減か大分空席が多くこの一事は成功に終つたこの大會中での只一つの無念さである。併し代議員中には、金澤各婦人會及羽咋、大聖寺など縣下婦人會からの代表者があり又傍聽者が代議員の何倍と云ふ程多くて、男子の人達も、主婦然とした婦人、花柳界の婦人總べてが野次一つとばさず、愼重に四時間半あまりの長い時間、火の氣のない寒さの中に傍聽された事は『それは時代だ』と云ひ切つて仕舞ふにはあまりに勿體ないやうな現象の一つだつた。

司會者は金澤支部の安藤隆子氏頗る落ち付いた司會振である。開會の辭は金澤支部長駒井靜子氏。ぐつと腹を突き出し、やゝ胸をそらせて、腹の底から押し出して來るやうな話ぶりは實に堂に入つたもの胸下あたりから腹へかけてはすかひに締めた帶が、黑い羽織の下に美しい。野暮でなく、力があつて落ちついて、假に兎かくの評があつたにしろ、こんな人は得難い人として護つてゆきたい。次は小坂久子氏の伴奏で相川末子氏が婦選の歌を獨唱して下さる。この歌をきいてゐるとみなの血がわく。終つて市川氏の同盟を代表しての挨拶。微に入り細に亙つて性格的に緻密なもの。總務市川の事は何かにつけて紹介される機會が多い事故、私は敬遠しておく。

祝辭は金澤市長、永井柳太郎氏、竹内清氏、大聖寺太陽社の柿谷政吉氏、新潟縣刈羽郡支部特派の高桑豊市氏等あり、何れも私共への激勵と援助の言葉でかゝる多くの支持によつて立つてゆく自分達である事が明瞭り意識され、意識は覺悟を促して私達の步調みを揃へさせて呉れる。祝電は北山亥四三氏、藤田たき氏、調査委員會、熊本支部より來り司會者代讀。本筋を進まう。

いよ／＼議長、副議長の選擧と云ふ事になり、時間の關係上司會者指名として議長金澤支部の米山久子氏、副議長金子茂氏、司會者がどう間違つたのか、金子茂を河崎なつ氏と、混同して河崎茂と云ひ、河崎氏から訂正が飛ぶあたり、そろ／＼議場氣分が出はじめる。議長副議長の挨拶が濟み協議題へはいる。第一『完全婦人公民權獲得に最も有効なる方法如何』は群馬の八木橋きい氏が立つて說明。質問になつて群馬の坂内みのぶ氏が『今五十九議會に於ける公民權案に對する貴族院の狀勢如何』の質問をなし、八木橋

氏は市川氏に答へて貰ひたいと提案し、滿場一致で市川氏答辯と決定、氏は自席からこれに答へる。
　質問なしとみて議場にそれを問ひ、代議員拍手を以つて答へ、討議へ移るあたり、議長の議事進行ぶりは鮮かなものである。この議長終始一貫して無味無臭水道の水のごとく淡々として、往年の粕谷議長を彷彿させる名議長であつた。



北陸婦選大會に出席せる本部役員と諸代議員

　第一協議題は無事に討議もすみ、即時附與の決議もされて、決議文起草委員は議長指名で市川、八木橋、和崎氏となり、三氏別室へゆく。
　第二『如何にして結社權及び婦人參政權獲得の時機を促進せしむべきかは』坂本眞琴氏說明、質問なく、直ちに討議にいり、鈴木澄緊急動議として、結社權と參政權とは別々に分けて取り扱ふべきを提案、滿場一致贊成で討議にはいる。結社權の方は公民權の方と一緒にする事に可決し、參政權の方が取り上げられる鈴木芳子、市川氏等より參政權も即時附與を要求すべしと云ふ意見が出て、大體その方向に進まうとした時、安藤隆子氏から公民權を使つてみてその効果を見せた上で參政權を要求する方がよい故、先

## 大會に出席して

□　群馬縣　八木橋きい

一步一步正しく強く伸びて行く婦選運動尖端的とか新しがりとかそんな言葉は古い婦選同盟の步みは、牝牛の步みの樣にしとやかである、しかも根強く大地を踏みしめて完全に足跡を印して行く、日本全土を征服せねば止まぬ決心で。其れは今度の北陸大會に依つても自明の事である。然し尙力に於て不足だ。孤軍奮鬪と云ふ感じは振り拂ふ事は出來ない、斯樣な會のある每に益々強く意識される事である、同志の固き結束をこそ祈つてやまぬ。
　同盟の進む天地は金澤の初冬の時候がよく物語るであらう。

□　金澤市　安藤　隆子

一、各地方に純粹で熱烈な同志が多數居られることを大會によつて知り得た私は、心强さを覺えたと同時に、信念がます〳〵確實になつたこと。
二、今後かゝる大會を山陰に山陽に關西に九州に催して、大いに地方婦人の參政權

づ完全公民權の要求を盛んにするがよいと云ふ意見が出ると、渡邊とめ氏が素早く立つて「公民權よりは參政權が欲しい」位なのに何を云ふかとばかり安藤案に絕對反對する。續いて駒井、和崎、鈴木澄氏等何れも安藤氏に反對し、參政權即時附與と云ふ事に決議して、決議文起草は第一號案の委員に併託と云ふ事で終る。

第三『婦人公民權公使のために如何なる準備をなすべきか』は福井の南部華子氏說明。質問なく直ちに討議にはいり、坂本氏先づ立つて、地方の代表から忌憚なく意見を聞きたいと云ふ。

米山氏はこの頃議長席を退席して金子氏議長席につく。

パンフレットによる、リーフレットによる、講演會、最寄會、市政研究會、見學、等々或は各婦人團體にこの問題のため働いて貰ふやら勸告文を送る事など、有効な方法がどんどん出る、おかみさんたちへのお茶のみ會を秋田縣で和崎氏が力說する次に河崎なつ氏から、女學校に公民科の設置されるやう、小學讀本の中にもこの問題が取り入れられるやう文部省に決議文を送る事が提案され、凡べてが可決されて、これも亦決議文起草委員が議長指名であげられ、河崎南部坂內氏が別室へゆく。玆で漸く出來上つた第一、第二號議案の決議文案の報告にうつり、市川氏より說明がある。滿場一致可決。終つて第三協議題の決議文原案が來るまでの間、やゝ議場がだれ、金子副議長の氣をもむ事。と云つて、金子氏一人がいら／＼したわけではなく、我々も心配した事一通りでないと云ふ事をつけ加へておく。やつとのことで待つてゐた原案が出、直ちに可決され、議事を了へる。次は婦選の歌、今度は合唱である。さつきは歌ひたくなつても獨唱なので口のうちでむにや／＼だづたが、今度は大聲出

に對する聲を高めたいと思つたこと。

三、よかれ惡かれ種々の敎訓を得て、有意義で且つ奮起させられたこと。

四、遺憾に感ぜられたことは、地方代表婦人會代表の數の少なかつたこと、今後は大いに出てほしいと思ふ。

□　福井縣敦賀町　永田　和子

樂しみに待つてゐた北陸婦選大會の日がとう／＼來た。停車場で早くも三四人の會員の方々にお目にかゝつて會場へと急ぐ。雨が降つて道が惡かつたが、出席者も多く盛會だつた。晩の演說會も老若男女藝者衆の顏も見えたやうだつた。聽衆も大變眞面目で、泣いてゐる人もあつた。

翌四日は、しんみりと語り合ふにふさはしい靜かな雨の日。折から末山様のお話にホロリとする。溫い親しみ深い會合だつた本部支部の方々の溫いお心のあふれてゐることが沁々と感じられて、限りない感謝と喜びを交々感じながら歸路についた。

□　福井市　南部　華子

十一月三、四兩日に亘つて金澤に開かれた北陸婦選大會に出席し、まづ第一に感じ

じて天下晴れて唱へるわけなので、皆子供みたいな顔をして嬉しさうに歌ふ。與謝野晶子氏の作歌の方などは確かに獨唱ものではなく「都の西北早稲田の……」式に大勢で歌ふところに、血のおどるよさがある。

閉會の辭は金澤の鈴木芳子氏。薄暮が迫つていよ〳〵うすら寒い壇上に蒲柳の身を黒紋付の羽織に包んでほつそりと挨拶する。愛すべき麗人で、全く金澤は粒ぞろひで……とほめたくなる。筆者は金澤の人が好きなので、遠慮しい〳〵ほめても、どうもほめるために頁が使はれすぎたやうな氣がして、出版委員長や、編輯主任から叱られはしないかと實にびく〳〵ものなのである。

今日出席の代議員の記念撮影は菊の花と婦選の旗に包まれてとつた。きつと皆なおとなしく、可愛らしくとれた事だらう。

## 夜の講演會の盛會

午後六時半から記念大講演會で、定刻よりやゝおくれて開會する。約六百人あまりの聽講者で男女相半ばし、晝傍聽された人もかなり多く、殊に花柳界の婦人が、夜のこの會にまで出席された事は一つの驚嘆であつた。

司會者が岡本あや氏で小坂相川兩夫人によつて婦選の歌を又獨唱して頂いた。出演者は安藤隆子、渡邊とめ、和崎ハル坂本眞琴、大橋豊喜、市川房枝、金子茂氏等で仲間賞めみたいで、少々氣が引けるけれど、何んと云つても皆それ〳〵に特長があつて、甲乙なくよかつたと云ふより仕方がない。自分でもこんなに人を賞めたい質だとはあまり思つてゐないのだがと云ふより寧ろ口が惡いので通つてゐるのだから、さうしてみるとうそでなく、確かによかつたのに違ひない。その

たことは、昨年の今月北陸婦人共通ともいふ因循の殼を破つて雄々しく起たれた金澤婦選支部が僅か一誕生を迎えられた今日、斯くも大きく强く成長せられたといふことでした。

昨年の發會の時、婦人政談演説といふ布令込みで、あの男女多數の聽衆を見た私は正に北陸の一奇觀といふ感に打たれましたが、此度更に幹部諸賢の涙ぐましき迄の熱誠なる御努力にて、秩序整然たる會規の許にこの大會の主旨を貫徹せられたことは、正に北陸婦人への覺醒劑であり、社會へのメガホンであつたと思ひます。

又この會に來賓として各方面の男子側の眞面目なる應援ぶりは、さすがは永井柳太郎先生を生んだ土地柄だと羨しくもあり、よい刺戟でした。またかういふ會合でお互が試練し合ふことは、やがて獲得すべき婦選への準備教育の見地からも必要なことゝ思ひました。隣縣の私共出席者はこの北陸婦選大會の名によつて大いに意氣軒昂と共に自責の念を强められ、近來にない收穫の多い愉快な二日間でした。

證據にはいつて來る時、口邊に皮肉な笑を浮べてゐた男子の人達が皆まじめな顔になつて聞いて呉れたし、和崎氏の時などは自席から感激して物を云つた人もあつた位である。

午後十時すぎてやつと公會堂を放免されて外へ出た時には、朝から晩までふり込めてゐた冷雨がいつのまにか晴れて、月が寒々と空にかゝつて、道の凹みにたまつた水にうつる灯のいろが、東京の街を戀しくさせる。

## 大會第二日は三芳庵で

昨夜の月はどこへやらで、又しても冷めたい雨である。金澤くんだりまで降られに來るとはよくせきどうも……である。

今日の協議會は本部の者と各支部の人とが集つて忌憚なく今後の方針、方法に就いて相談するために集つたので、昨日第一公式の服裝で出て來た人も、今日は軟い色の着物で、粋なのや、華かなのや野暮なのやと、とり〳〵で、會場も金澤で第一流の定評がある兼六公園内の三芳庵の離室、硝子戸越に滔々と落ちる瀧や池の水を眺め、朝鮮からぶんどつたと云ふ石の五重塔を見て協議にはいる。司會は金子氏で、鏤々として挨拶をしたり、手際よく話を廻したり切らせたり、この人にこんな事はうつてつけと云ふ感じ。

本部の財政の困つてゐる話、出版委員會の報告等、本部の狀勢を本部からの出席者が代りあつて説明し、支部からもいろ〳〵有効な話をきかせて貰ひ、それから自己紹介になる。眞面目に正面切つてする人も、ユウモアたつぷりなのも、淡つぽいのも、それ〳〵大きな感動を持つてゐる。東京だつてさうでないとは云はないが、地方でこんな會などへ出て來る人は本當に眞劍で一生懸命だと云ふ事が

---

□ 前橋市 坂内みのぶ

一、あの大會が一般婦人大衆の政治的自覺への啓蒙、大衆的行動に移すための準備ともならば意義があると思ふ、そしてそれを熱望する。

一、演説會は、もつと廣い種々な立場からの叫びがあつて欲しい、プロ婦人等――

一、それに斯うした社會狀勢下にありて唯物論を否定した理論(迷論)を堂々と述べた等は存外である。

一、兎に角階級を前提とした婦人の進出を望んでゐる。

□ 秋田市 和崎ハル

北陸大會、さすが百萬石の城下の皆樣方とてユツタリした中にも溌剌たる御元氣、婦選の闘士連中として天晴れな方々でした第一家庭的に惠まれて居らるゝ方々のみで美しかつたのです。佛教信者のみで斯く尖端的な御運動、全く敬服します。强き信仰と家庭的理解を有せらるゝ皆樣によつて、如何に北陸の天地は淸く明るくなることでせう。婦選もいよ〳〵近づいたなと全く嬉しさを禁じ得ませんでした。皆樣のご努力振りに深甚な敬意を表します。

身にこたえて感じられる。かゝる人々の健鬪を得てこそ我々のこの仕事は本當に支持されるので、今後もますます地方にあつて志ある人との交渉を密にせねばならない。殊に、第一高女同窓會の代表はこの日迄出席された上に、初めて我々の會の本氣な働らきを心からみとめ激勵して下さつた事と昨日差支で據なく缺席された福井の齊藤政子夫人が、この日わざ〳〵雨の中を出席して下さつた事は特記して感謝したい事だ。

正午すぎて皆一緒に御飯を頂く。つぐみのじぶ煮やゴリの味噌汁など北陸、特に金澤特有とでも云ふべき御馳走に舌鼓を打つ。

食後は自由にして、そつちにこつちに五六人づつ一團となつて、實際の仕事の上での打合せをするやら、久濶を述べるやら、親交を結ぶやらで、四時頃まで語り暮す。雜談に上る收穫の大きさは常に出版委員會の者の主張してゐるところでこの協議會の雜談時間も長かつたゞけに素晴しい收穫があつたであらうことを確信する。

## 二日間の大會を終へて

婦選獲得同盟としては、支部の一週年記念として、こんなにも盛大な記念を擧げられた事は、實にはじめてで、本部の十二月十三日の記念會だつて、こんなにも素晴しいやりかたをした時はなく、これは我々の同盟の基礎がいよ〳〵かたまりいや榮えた證であると同時に、婦人の叫びがこんなにも熾烈になつたと云ふ一大示威に外ならないのだ。私共はこの大會の收穫を當局へ投げかけて一歩前進しやうではないか。



# 大會を主催して

駒井靜子

瓢簞からコマが出た様な夏の夜のナンセンス。御大、金子茂氏が八月の暑い最中、鳥取講演の歸りに支部へおちよろはいに來られた。一晩、二晩、色々首を集めて支部の行く道の事等に就いて話が進められた。金子氏の太い首、米山、鈴木氏の鶴の如くデリケートな首が、熱が上るにつれて異様に動き出す。縣下婦選大會をやらうか、ウンニヤ縣下とは氣が狹い。「北陸婦選大會！」御大が言ふ。

オーライ、やらう！　米山氏の小鼻がうごめく。「やつて御覧なさい、大丈夫よ」金子氏の誘惑的な聲がしきりに耳元で囁く。

どうにかなる、よし、やらう。瘦腕を撫げて鈴木氏が頑張る。

何と決定の早さ。

「おやんなさいよ、大丈夫、賴みますよ」

車窓から最後に投げられた金子氏の言葉。

「やるといふたはいふたが、あんた自信があるかね」老婆心に富んだ米山氏が、

## 小湊より河原市、敦賀へ

武田睦子

去る北陸婦選大會を機に若狹新聞社の盡力で福井縣下の敦賀、小濱、河原市の各地に遊說。

大會を終えてホツト一息吐く間もない六日早朝市川、金子兩氏と共に小濱に向ふ、それが丁度例の不知親で顚覆した急行車だつたので規定より三十分以上もおくれ、敦賀で小濱行連絡線に乘り換へる時、危く置いてけぼりにされる所を間一髮、大きなトランクを抱えて滑り込む。正午過ぎ、主催者若狹新聞社長河村仁右衞門氏の迎へを車中に受けて小濱に着く。一先づ旅館に落ち着き、晝食を認めるなどしてその日の若狹新聞を見れば、段抜きに初號活字で演說會の宣傳記事が大々的に出てゐる。小濱は人口約八千、女學校もあるが何せよ婦選の講演は全くの初めてだから、宣傳にはウンと努めましたが聽衆の入りはどうか、と河村氏がしきりに心配する。無人島のやうな田舍町の靜けさに氣押された形で、三人は言葉少なに神妙に控へる。私は初めて演壇に立つ事とて、果して物が言へる事やら心配でならないが、考へは何一つまとまらない。聽て會場旭座に行く。

會衆は漸く百三十名位。內婦人は四十名位それがどう云ふ心理からか皆二階や隅の方に引込んでゐるのでまん中はがら空き。仕方が

毎日の様に電話で念を押す。「やるといふたからにはやらにやなるまい」かく申す某も、實の處心細いこと夥しい。「おやんなさいよ、大丈夫」むづがゆい誘惑の言葉が、又耳元で囁く。

十月廿日、米山氏のお仲人で妹を大阪へ嫁入さして、米山氏と共に金澤へ歸つた。

「サアこれから大會だ。」

毎日あれやこれやと血眼、どうして何時の間に日が過ぎたか覺えがない位。それ〴〵手分けして仕事を分擔する。あれはいゝか、あすこの返事はどうだつた任しておいてもつい氣がゝりになつて、お互ひに突込み合ひ。まるで喧嘩腰だ。

こんなにしてゐてさへ、二三日前に來られた金子氏に、「あれはどう？ これはどうなつてるの？」と突込まれて冷汗かくこと數度。十一月二日、金子氏は終日謄寫版づり、河崎氏はビラ書き役、支部の面々は襷がけだ。何れも手は姫御前のあられもない墨だらけ。

とまれ大會は濟んだ。瓢簞から飛び出たコマは完全に廻つて喝采を博した。古い言葉だが「爲せば成るなさねば成らぬ……」の文句をはつきりと我々の胸に刻みこんで大會は無事に濟んだ。

夢か、あらず、膝を抓れば明らかに痛みを感ずる。

力か、熱か、あらず、一般諸姉の熱誠なる御同情のお蔭だ。只ひし〳〵と胸に迫る「感謝」あるのみ。

---

ない、壁に向つてお稽古をする氣で半時間程しやべつて引き込む。出來の程は自分には分らぬけれど、どうやら案じるよりは生むが易いと云ふ感想だつた、次は金子、市川と兩氏が各一時間半づゝ熱辯を揮つて私の拙い分を補つてくれる。兩氏のこんな有益な話を何故モット多くの人が聞きに來ないのかと、ツク〴〵惜しまれた。

それから直ぐ汽車で少し離れた河原市へ行く。こゝは小濱より更に小さい。會場は燃園クラブ、夜だけに聽衆はやゝ多く百八十名程中婦人は三分の一程、その中には三四里も離れた村から自轉車で驅けつけた産婆さんもあつたとか。さうした話を直接聞くのも始めて故、ひどく嬉しい氣がする。

その夜は河原市に一泊、翌朝乘合自動車で昔のまゝの並木街道を敦賀に向ふ。北國らしい淋しさを帶びた美しい山、田、海、粲のりんどうに興ずる金子女史の本部では見られぬ小娘らしい姿など、私には珍らしく嬉しい旅である。

敦賀の演説會は午後一時半から濱座でやつたがやはり百名位。この不景氣に田舍で入場料を十錢も取つて、その上二ヶ所は壺なのだから入りの悪いのは無理もない。然し聽衆はいづれも非常に熱心であつた。

夜は旅館へ會員の永田、田中兩嬢がお友達を二人連れて來られ、婦選の會員であるための色々な苦勞や努力などを語り合ひ、今後の開拓を誓つて十時頃惜しい別れを告げた。

# 北陸婦選大會を主催して

鈴木芳子

北國の十月の終り頃はもう冬が冷たい雨を多く持つてやつて來る。

いつもはこうして寒くなつた空を見上げて、冬仕度くを急ぐ生活の私等も、この秋ばかりはそうして近くの山々までその頂に白く雪をよそほつても、雨が毎日降り續いても、外出を見合せてはゐられなかつた。と云ふのはやがて迎へる我が婦選獲得同盟金澤支部が本部と合同で主催する北陸婦選大會開催日が十一月早々なので、準備其他の打ち合せを幾度も開かねばならぬためだつた。

會場借入れ、集會屆も濟む。開催日前日にまくビラも出來上る。豫定人員も分り御宿の交渉もすむ。各新聞社各婦人團體に送付するプログラムもと、各自分擔の仕事は次々に運ばれて行つた。家事を片手にさぞみんな忙しい思ひをして、進められて行つたであらう事を考へて濟まない氣持ちになる。しかしこの小さい各人の力が集り集つて、一つの大きな仕事を完成させて行くのだつた。その間々には本部からは、なれない私等へ次々に御注意があつてはかどつて行つた事は、感謝に堪へない次第であつた。

愈々金子さんが先發として、次に河崎先生とのお二人の來澤によつて、準備は全く成された。にはか仕立ての事務家等も明日にせまつたその用意をあれ之れと

## 大會エピソード

### —其一—

大會は成功しました、だが、もしもあの地方代表の宿と決つた驛前安井ホテルのあの部屋にあの電話がなかつたら——或はこわれてゐたら——あの大會はあゝ迄成功はしなかつたでせう。なぜなら、その前夜、十二時迄皆がかゝりで準備をしたのですが、何しろ支部の人には家庭婦人が大いので、此度の催しの爲に已に幾日も家をあけてゐる上、何ぼ明日の今夜でも十二時迄かゝらうといふのですから三人子持の米山夫人など、十分おきには自宅に電話をかけたものです。岡本、鈴木、駒井氏なども負けてはゐません。おあんさん、おにいさん、旦那さんなどとそれ〲ご主人を凡そ卅分おき位にはよび出して、ちやんと公認をへたものです。

大學病院勤務の津川さん、勝木さん、熊本から移つた安藤さん、默々として、謄寫版ずりに、議席表作りに、美事な仕事ぶりは、本部の連中も一二目おく位でした。その上夕方からは雨の中をビラまきにも出かけた勇敢さ流石河崎先生の目にも涙が光りました。

### —其二—

夜の講演會の樂屋で米山さんと駒井さんが手を握りあつて泣いてゐました。その涙はからなのです。受付にトボ〲と一人の老婦人が

片付けながら、明日の盛會を想はぬ者はなかつた。代表者宛の書狀や議席番號の三角塔、會員章、演題を書いたビラ、とつみ上げられたそれらのものをみて、私は何だか云ひ樣のないある、嚴肅な氣持になつて、もう連日のつかれや苦心は嬉しいやうな心配な樣な望ましい或るものに變つて行つて、涙の出るやうな感慨でいつぱいになりながら、十二時近く歸つた。

そのかへり道、車の中で、夏、金子さんの見えた時、支部一週年記念事業としては何をなすかについて相談をした時、米山さんの發案でこの大會主催をと述べられて、よからうと同意するにはしたが、北陸と云ふ範圍の廣い、そうした大きなものが、果たして出來るか知らと、私は內心ひそかに其實行の困難を案じてみた事もあつたが、こんなに立派に用意の出來た明日のその盛會を想像される時、以前持つてゐた心配の杞憂に終つた事を喜ぶと同時に、夢の樣な氣持ちもするのだつた。こうして夏以來の事を思ひ過してかへつたものゝ、まだ一度も會はない本部の方等の事を想つたり、又思ふと云ふ事は出來ると云ふことであると云ふ信念を得た力强い氣持ちなどでなか〳〵眠れないまゝに明けた。

十一月三日午後一時、豫定の通り遂く秋田、群馬、柏崎、福井の各地から代表を迎へて、別項の如き大會の決議文を決定し、午後五時無事大會を終つた。引きつゞき午後六時より記念演說會を同所に開き、各地代表の熱辯の下に十時多大の感動を與へて散會した。翌日は午前十時より兼六園の三芳庵で、各支部打ち合會を催し、後懇親會をはじめ、和氣あい〳〵裡に意義深き大會を終了した。

此の度北陸婦選大會が開催された事は、婦選獲得の目的達成の上に、大きなデモンストレーションとなつた事を信ずるものであり、今後此の運動の成果を完全に獲得する爲により益々努力を重ね、併て之が行使の問題についても婦人の立場から主張すべき、政治經濟又外交の色々な問題をお互ひに硏究しなければならぬと痛感した。

---

二人を訪ねて來ました。出てみると二人が昔女學校で敎へをうけた恩師、今は耳しひて演說會はきけないが、二人のはたらきを他ながら知つて、頼もしく嬉しく、これは私の心ばかり、どうぞ體をくれ〴〵も大切にと金一封を差出して又トボ〳〵と雨の中を歸つて行つたといふのでした。「婦選といへばまじめな女のやる事でないやうな誤解の殊に多い田舍だからと上にも上に心がけて働いてゐるこの人々にとつて、こういふ出來事は、聲をはりあげて泣きたい程の感激と感謝であつた筈です。

— 其三 —

鈴木夫人は夫君が深い諒解の下に進んで運動に出されるのですがそれでも親心は格別丁度一行の歸京を送つて歸るとしめて出た筈の戶があいて、內には人氣もする、變だと入つてみると、里のお父さんが、「明日の大掃除もこの間からの騷ぎで、手まはしが出來てゐまい、そんな事から世間の人の口の端に上つても」とそつと來て欄など片つけて居られた。まあ〳〵と、親子三人夕食の後、お父さんは鈴木氏に對つて「前から一度きゝたい〳〵と思つてゐたが、芳があゝして出步く事は、あなたも許して居られるとはいへ、さぞその爲に何かにつけご不自由をかけてはゐまいか。遠慮なくいつてくれ。」といふ話。「私はこの時位、親のありがた味を感じた事はありません。今迄實家に行てもさら詳しく運動の話もしませんが矢張心配してゐてくれたのです。私も今後益々努力して皆の期待に添ひたいと思ひます。」とは僞らぬ夫人の話。

# 大會雜感　東京側

坂本　一番殘念だつたことは、金澤側の人の出席が非常に少なかつたことです。

鈴木　主だつて仕事する者は、役がついてゐるので、議席に就く者が餘計少なかつたわけでせう。私は議席だけにゐる者に、もつと議事法を敎へて討議出來るやうにしてをきたかつた。

金子　それは、準備にあたる金澤の責任でなく本部の負ふべき責任だつたと思ふ。本部もいつでも手一ぱいなので、そこまで準備して來て貰えなかつたのは仕方がないが殘念です。あの議席はたしかに出席といふ返事を一々求めた上で造つたのだが、矢張當日の天候などで止めた向きも少くなかつたらしい。

河崎　前夜十二時までかゝつての支部の人々の準備ぶりは、むしろ凄かつた。司會者、議長、進行係とそれ〴〵金子氏を取りまいていろはのいの字から呑込まうと一生懸命。私はすつかり感心した。成功だと思ふ。

坂本　勿論決して失敗ではなかつた。

金子　この春の全國婦選大會でも、同じやうな失敗はあつた。要するに、手一ぱい過ぎる感じだ。氣がついてゐて、やれないのは辛い。

河崎　あゝして議事を見せる事も、傍聽の婦人達にいゝ敎育だつたと思ふ。

渡邊　支部の人はなか〳〵よく統制されてゐた、大成功と思ふ。

鈴木　支部の人々の眞劍な態度は本部の者の大いに學ぶべきだ。

武田　私も同感です。

河崎　私は先發してよかつたと思ふ。この次から、もつと準備に費さなければいけません。

武田　傍聽があんなにあるとは思はなかつた。殊に、普通の商家のお内儀さんなどが多かつたのは嬉しかつた。

大橋　男の聽衆も眞面目でうれしかつた殊に夜の演說會で、初めに入つて來る時は相當彌次氣分の人も少くなかつたが、聽いてゐるうちに引き入れられて、とても眞劍な樣子が見えた。

武田　私は和崎さんや、地方の人々の態度に、大いに發奮させられてその後の遊說に加はる勇氣が出た。

市川　兎に角、かうした地方の人々に觸れることが東京の人々にとつて必要なことだし、同時にこの地方の人々の意氣を中央に傳へて大いに獲得を促進したい。

河崎　各地方で大いに婦選大會が行はれるやうにと思ふ。

金子　福井の人々はよほど金澤に刺戟されたやうであつた、それに大聖寺や羽咋方面からも縣下の代表が來てゐたことも嬉しかつた、あれらは金澤支部の人々の遊說の收獲なのです。

鈴木　私は、富山方面を歸りに少し開拓したいと思つて寄つたが、大會の噂さは方々でされてゐた。

渡邊　兎に角支部の一年間の成長ぶりは心からたのもしく思ひます。

河崎　福井にもきつと近いうちに支部が出來るでせう。

武田　敦賀の人々もとても積極的だつたみんな今度の大會の賜物だ。

坂本　やつぱりやつてよかつた。

金子　支部の連中も心からそれを言つてゐました。

市川　私は支部の人々の背後にある御主人達の援助を美しいと見た。

河崎　それを得る迄に至る支部の人々の努力も大變だつたでせう（中央委員會の夜）

# 全關西婦人聯合大會を觀る

金子しげり

全關西婦人聯合會の大會が十一月八日に、同九日には同會主催の第二回全日本婦人經濟大會が大阪朝日會館に開催せられたので、北陸婦選大會を了へ、關西遊說及京都支部發會打合せの爲關西に來た序に傍聽した。今玆に直接婦選に緣のある點のみについて記す。

×

全關西婦人聯合會は、大阪朝日新聞社がその通信網を利用して組織した關西各地方の婦人會の聯合で、年一回の大會には朝日新聞はかなり多くの犧牲を敢て拂つてこれを守り立てた結果中々立派な婦人議會となつたが成長と共に聯合會は、朝日新聞社より獨立の意志を抱き、昭和三年度大會に於てこれが決せられ、昨年度より全く自治的にこれを開く事になつたが、猶朝日新聞社とは密接な關係を有し、後援の名の下に相當の援助がなされてゐるし、事務所もおけば聯合會代表には大阪朝日新聞記者たる恩田和子氏がなつてゐる。

×

所でこの大會は本年で十一回目、去年の春の獨立第一會大會から一年七ヶ月ぶりで今年はしかも經濟大會と同時に開かれた譯である。初期には議題なども各地方から提出されるものを、一も餘さず皆審議して、夜に入り時間をくりのべて協議した事さへあつたが、五六回目からは稍同一議題を整理し昨年からはまづ委員會によつて議題を細部に亘り討議した後で、本會議を開くといふ方法をとり、本年も昨年と同樣の方法を踏襲した。

そこで我々一行はまづ政治法律部の委員會を傍聽させて貰ふ。三百餘の全員を政治、子供、社會、國際の四部に分つた事とてこの部も百人近い委員が、狹いステージ裏にごた〳〵つまつてゐた。委員長(互選に非ず)は大阪市の錦織久良子氏、介添役はこの春この會の請願書十萬を議會に持參された進藤德子氏、委員中にはわが獲得同盟金澤支部の鈴木芳子氏、廣島支部の西村ヤス氏、京都の榊原彌生氏も見える。

まづ次のやうな印刷物が配られる。

『政治部』

一、法令に規定せられたる男女差別待遇の撤廢に關する件

　參考項目

　一、公民權、參政權、結社權を男女平等に獲得すること

　(イ)制限公民權を完全公民權として獲得すること。

　(ロ)參政權、結社權、獲得促進方法

二、女子の財產權獲得方法

　(イ)妻及び子女が財產分配に預ること

　(ロ)妻及び子女名義の財產は法律を以て保護さるべきこと

三、男女貞操の標準を一にすること

これはこの會の本部同樣の立場におかれてゐる大阪部で作つた原案なので、各地婦人會から提出の議案――これは代表者に配られた印刷物にまとめて印刷されてゐたを――整理した結果がこれであり、しかもほんの參考案として持ち出されたものだと後から大阪部の人からきいたがこの委員會の席上では委員長から何にもさういふ說明はなく委員連もなれない人が多いと見え、討議の題目は最後迄この紙から外へは出なかつた。又この原案はこの場で初めて渡されたのであつて、前以て各地方代表の手許に送られてはゐない爲に本當に準備、研究された意見は至極稀であつたのも止むをえまい。

×

逐條審議に移ると、鈴木、西村兩氏が流石に婦選支部代表だけあつて、さきがけて立ち種々具體案を出した。西村氏は「此の際制限案は勿論非で、ぜひとも結社權、參政權共に獲得に邁進すべし」といふので、鈴木氏のは北陸大會の決議實行案をその儘具體的に述べたのであつた處が、この中で大會の決議を內相に送るといふ處をなれない悲しさ、つい傍の勢につり込まれて請願といつて了つたものだ。さうすると大阪側は委員長自ら先に立つて、「請願は貴衆兩院に

すべきもので、それには決つた方式もあるから毎年實行に當つて來た本部にお任せ下さい」と舟を漕ぐ。請願ではなく決議の處に意義があるのだ三百餘名の地方代表が出席してゐるこの大會の名に於て、今日此場から内相に送る處に價値があるので暮になつてもう政府案も決定した頃にヨチ／＼議會に請願書を持ち込んだ處で何にもなりはしない。それは確かに全關西婦人聯合會の毎年十數萬の請願書は婦人の輿論を具象化するものとして我々もその効果を十分に認めるが、何がさて請願だけでは直接の力は一つもない。矢張り法律案が當面の力あるものでありそれが政府から出れば一番有力なのである。處で今年はそれが己に出るのである。しかもそれが制限案だから玆に反對しやうといふのであるから、政府案阻止の運動は一日も早く案の決定權を大體に於て握る内務大臣宛になすべきは當然すぎる問題なのだが、大阪方に限らず、百人からの委員中誰一人これに抗議するものもなく、易々と「お任せいたす」事になる。尤も文案について岡山の栗林氏から「こんなものならば、入らぬといふ風にはかゝぬ事」と申出があつた。

委員長は「私思ひまするに」など〻前置してとかく言ひたい事が胸に餘る樣子で感想をのべに廻り、肝心の委員連の發言を反つて封じて了ふ傾きがあつた事は殘念、但しこの人頭から制限案反對で、なぜ完全案でなければならぬかについての説明はついに一度もなされなかつた事は、都合がいゝやうな、又一般の委員にこの問題をよくのみ込ませずに終つた事にもなつたやうである。完全案をのぞんでも制限案が通つたらどうするか用ふか用ひぬかといふ問ひが出た時委員長はこれを一同にはからずサッサと自分で「まあすねて見せるのですね」とやつた時には流石に議場が沸いて「そんな不まじめな」とか「まじめに用へば後が早くもらへる」などゝいふ()見が大分出て、到々委員長の失言は取消を要求されたりした。

殊に委員長横暴と叫びたかつたのは、(ロ)の問題だ。『これは今迄毎年本部でよく闘つて參りましたので、從來の方法以外に今更新しい方法もあるまいと思ひますから、本部にお任せを。』それもまた大分ダレて來た委員連無責任にパチ／＼と拍手で片づける。

今年は結社權案も政府から出るのだ、公民權に目がくらんで參政權なんか永久に後まはしにされてもかまはない樣な女の中のうら切り者の出さうな形勢さへあるのだ、それをしるやしらずや委員長も例年通りに扱ひ他も皆可とし特に今年の對策の少しもねられぬ手ごたへのなさは唯々驚く他はない。本部の毎年踏襲した方法とは、三案の請願以外には、地方選出議員をその地方々々の婦人團體が說くとか議員夫人に諒解を求める程度で今迄多少とも効果をあげたのは請願以外にない。その請願をかくも絶對有効の方法だとこの人々に信じさせたのは何者か、我々はその者をむしろ怡みたい心で一杯になつた。もしそれ代議士過の献策とすれば、その議員は婦選運動の阻止者として、女性に記憶せらるべきが當然である。

それにしても、指導者格の人々への政治教育の急務が痛感された。呆氣なく一がすんで二。これは當面の問題から離れるから略すが、今年は何が何でも民法改正の決議をさせなければ死んでも歸れぬ底の覺悟をきめて出て來てゐる京都の榊原さんが「妻無能力」をふりかざして原案そこのけに活躍して、縱横無盡そのねばり方は氣のよはい連中をたじろがせる程で、これには委員長以下そんなものがあつたかしらと六法全書と今更首引となつて防戰に遑ない有樣榊原氏の表現が稍散漫な爲、一同にはそのいはんと欲する點がよくのみこめず、徒らに議場を沸き立たせダレしめたのは殘念だつた同時に、委員長側が、事、法律方面に一歩を入れるや、政治の時の樣に横暴に近い潑溂性を失ひたゞ／＼防ぎ矢のみ仕つた事は婦人の法律知識缺乏を今更の如く痛感せしめた事であつた。

三は、比較的容易に、兩方とも罰する事に決して、原案を綜り拔いて委員長の繰返しての要求でのこり——といふより無理

に獻出した時間で、政治教育の方法を練る事になつた。玆でも西村氏から講演會リーフレット案が出、鈴木氏は、ラヂオ說を稱へたが、リーフレットは本部一任ラヂオは、下府社會にはないから大衆的な方法でないと一蹴される。

×

かくて午後の本會議に、委員會案として報告されたものは、一に對しては、

一、本會の名に於て政府當局に請願すること（本文は本部に委任）

二、本會の名に於て各代議士に依頼すること

三、地方選出代議士に各婦人會より運動すること

四、更に貴族院に對して運動する事

で、これに對して婦選側としては、委員會の失敗をとり戻す意味で、名古屋會員の小尾ふさ氏から、請願を決議と改める緊急動議を出して貰つたが、これも場慣しない爲に質問中に發言して、名議長望月氏から大に名議長ぶりを發揮されて片づけられて了つた。即ち神戶代表の望月議長はまづ委員長へ「請願も決議も同じ位の意味なんでせうね」と念を押し「議會へとか內相へとか、そこらは、本部が適當に出すべき處にお出し下さるでせう。」と大に大阪部のご機嫌を取り結んだことである。

但し同じ大阪部から費用の點で文句が出た。「每年の實行運動は皆本部即ち大阪部の負擔だがこれは各會分擔に願ひたい」とでこれは可決した。だが貴族院の運動は又本部一任。(ロ)も勿論お任せに異議のありやうなし、この後に二三の審議があつたが省くとして、唯委員會で握りつぶされかゝつた榊原氏が決然陣容をとゝのへて離婚法の改正を主張し滿場一致で修正に成功した事を附記しやう。

政治教育の方法としては

一、小學校、及中等學校に公民科を設けること

二、各聯合婦人會にて講座を設けること

三、通俗的リーフレット（文句は本部にて作製各婦人會へ通知）

四、講演會

の他に五、見學が加へられ、一は文部省教科書編纂係に例の請願をやる事になつて實行はこれも吉例の本部一任、二は申合せと決定して、政治法律部の本會議は終つた。

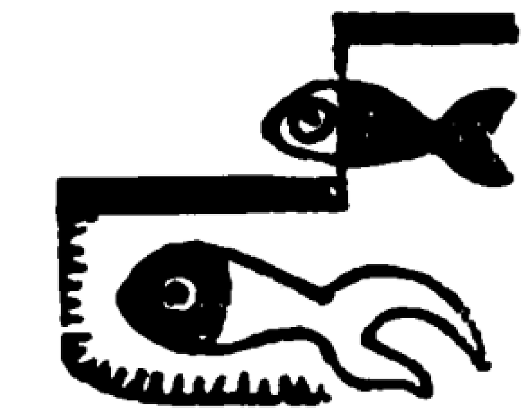
大會は、後三部の本會議の他に聯合會の會則審議などもあつて夜に入つて終つたし、翌日はもう經濟大會であつたから、結局實行運動の大部分は、その後に於て大阪部により運ばれたのであらうがその大阪部も任せろ〳〵と引きうけたがる連中と、先きだつものは金と引しまる連中、餘り地方がよりかゝり、虫がよすぎると怒る連中でごたついてゐた。

×

全關西婦人聯合會は十年の歷史を閱して本年漸く會則を制定した。これによれば、この會は「關西に於ける各府縣婦人聯合團體の有機的協力により、女性の向上進展及び人類相互の幸福と進步とを計る」が目的で「各府縣婦人聯合團體を其地方の地方部とし、關西に於けるこれを以て構成せる聯合體なのであつて、一、經濟部、二、子供部、三、社會部、四、政治部、五、國際部に分れ、各府縣團體は、所屬團體一につき年一圓を納める事になつてゐる。

この會は確かに數年來婦選運動（主として請願書による）を繼續し、本會提唱の共同委員會にも參加して來たが、同委員會解散後新な共同運動機關の設置をみない今日は、單獨運動にのみ依つてゐるが、全員百五十萬と稱するだけに、又朝日新聞社の援助あるが故に、每議會に十數萬の請願書を寄せる事は寧ろ容易であるらしいが、婦選運動中最も困難にして同時に最も大切なる中央に於ける議會並に政府への運動には參加頗る困難であり、又寧ろこの會としては前者の如き大衆運動一般政治教育運動に進むことこそ、より本質的な活動であらう。

所で、我が同盟の支部も日を逐ふて關西各地に組織されてゆくが、我々はこれらの支部はその地方の府縣聯合團體に參加しそれを通じて大會にも代表を送るべきであり、これが多數になればなるだけこの大會席上に婦選獲得の勢を強からしめ、政治部を有力ならしめ、以て全關西婦人聯合會の婦選運動をしてより力づよきものたらしめる事を信じて疑はない。



# 萬女鑑

十二月（師　走）

日曜　七日　十四日　廿一日　廿八日

祭日　廿五日大正天皇祭

×

栗原　潔子

水やゝにつめたけれどもふさ／＼とこのいつくしき白菜をあらふ

×

智　月　尼

晝のひる夜のよる知る冬至哉

×

冬季、ビルデングなどで働く人は、急に戸外に出ると、心臓麻痺や腦溢血で倒れる事が尠くないからご注意の事、これは温い處では皮膚面の毛細管が擴張してゐて血液の循環が盛で、血壓も低いものが、戸外の氣温がグツと低い爲に、毛細管が收縮して血壓が高くなり、內臟に充血するからで、これをさけるには氣温の激變をさける爲に徐々に階段などを經て戸外に出る方がよいのです。

×

年末は小包を作る事も多いものですが、一寸した心使ひで上手にも下手にもなります、よくわれものゝ入つて來る段ボールの箱（ボール紙の內側が波形になつてゐる）の中にこれも同樣よくつめものになつて來るエキセル（細い木屑、木毛といふ）あれらを手まめに保存しておくと

こわれものを送るのに重寶します（箱の中に中身を入れてよくエキセルをつめ、少しのすきもない樣にしてから木箱に入れ、麻糸を十字にかけ、宛名は紙にかいてはりつけるとよろしい。

呉服類ならハトロン紙に包んだ上を矢張油紙で包み、二十字形に麻糸をかけます。

エキセルは買つても一貫目二十錢位、段ボールも二尺六寸に二尺大で一枚三錢ですからない時は買つても大した値ではありません。

×

火の用心、火の用心、拍子木の音が身にしみる夜が來ますね。

火をもしも誤つて出した時、何よりもまづ落ちついて消防にしらせるのは勿論だが、小さい火ならバケツの水をかけてもよし、障子などについたら、箒に水を浸してたゝき消すがよく、ガソリンなどに火がついた場合には水は大禁物、砂か灰をかけるか布團で蔽ふことです。鍋の油に火がついた時は一つかみの鹽なり、青い野菜なら、何でも放りこむ事。

×

かねて申上げたやうに虫干は空氣も乾燥して居り、織物の害虫の活動せぬ冬、十二月から二三月頃迄の間にやりませう。殺菌、殺虫からいへば、日光の直射は理想的ですが褪色の怖れのあるものは、室內の風通しのよい處へ、時間は午前十一時頃から干し初め、三時頃にはもうボツ／＼取り入れるがよろしい。入れ物も勿論同時に丁寧に隅々迄刷毛で掃除する事。衣類はたゝむ折に刷毛をかけ、塵埃や、虫の卵をよく除き、汚點もあれば除いてから和服は新聞紙に包みその上を新モスか天竺の洗ひさらした白布に包むのがよろしい。

毛織は密閉した器に納めるのがよいが洋服だんすに吊しておくにも右のやうな白布で袋を作つて覆うておくとよろしい。

×

古毛糸の編み直しは、汚れたまゝ解いて、普通のカセに作りアルカリ性の少い石鹼湯を作り二三十分もひたし、つかみ洗ひし汚い汁が出たら、同じく微温湯で何度もゆすぎ、最後に一つまみ鹽を入れてすゝぎ上げ、日蔭でかわかし、すつかり乾いたら御飯蒸しか何かの中で蒸すと毛糸がふつくらと新しいやうになります。

×

艶消電球が切れてゐるかどうかをしらべるには、黒い紙を圓筒にして先きに穴をあけたものを作つておいて光源になるべき電燈にかぶせ、その穴からもれる光線で、しらべたい電球をすかしてみれば、中の線がハツキリと見えます。

×

毛皮の需要が年毎に增しますが、毛皮の鑑別は中々むづかしいものです。獺の毛皮で四、五圓などゝいふのは山羊の皮革の上に動物の毛とさくひを混ぜて機械でふきつけた物で水に合へば一度で毛がぬけます。兎の毛に鉛の粉を塗つて光澤づけたのも、見事な獺の毛皮に見えるが、暫らく用ひてゐる間に粉の爲に首が白くなり、毛の光澤が失せます。

寒い地方の產だと、一般に毛が長くて密だといゝとされてゐますが、一寸さわつた位では解らない、アイルランドフォックスが實は犬毛の染ものだつたりしますから、まづ毛皮を求める時は少し位高くても信用の出來る店で買ふといふのが外人たちのやり方です。

×

木炭を買ふには、產地を重く見る事が大切です。楢丸、楢割は岩手、青森が上、野州、甲州山陰ものは下、所で東北ものは大抵角俵、その他は大抵丸俵です。堅炭は金澤、秋田、新潟產がよく、甲州ものは下ります。

×

鮭の一番おいしいのは、卵を產まない前のもの、即ち十一月から十二月初旬へかけてとれるもので、これが小賣店に出る迄が約一週間と見て、十二月一杯はまづおいしいのが食べられる勘定、それ以後は貯藏品を除けば產卵後の鮭になるので、味がガタ落ちです。產卵前の鮭が肉の色も淡紅で美しく鱗のツヤもあるに引きかへ、產卵後の鮭は色がグッと惡く鱗にツヤがなく肉も黑ずんでゐます。

產地としては石狩、根室ものが極上、次が北見、エトロフ、カムチャツカや樺太になるとずつと落ちます。上物は小柄で肉がたつぷりと肥つてゐて頭も尖らず、切ると肉が緊つた淡紅色ですが、下物は、肉も薄く、色も褪せ、腹が黑いといふ風に、見ても明らかに分ります。

×

天ぷらはあげたてをたべなくては何にもなりません。その意味で、家庭でおざしき天ぷらを實行なさる事をお奬めします。

ころもは粉一合强に水一合玉子三分一の割で、水と粉とが離れ〳〵でない程度に太い箸でザツとまぜて下さい。ブツ〳〵のまゝつ子でいゝのです。細かにまぜすぎるとねばりが出て衣が粘膜様になるから揚がりがおそく材料のおいしい汁が出て了ふのです。

油かげんは、鍋を火にかけて油が下から靜かに動き出した時がいゝので、ころもを入れてみてそれが油の中へ沈んでゆくかゆかぬに、浮いて來る、その時が入れ時です。

もしパツと散つたら煮えすぎるし沈んでうかねば煮えたりないのです。

揚げ玉はたねが不必要な衣をはじくから出來るので出來るほどいゝのです。鍋に一度に澤山入れないこと、一つ入れる度に油は冷くなるわけですから、よく揚りません。いゝのは五六寸あるものなら二つか三つ迄。

×

おいしい大根は、肌が滑かで色艶のよいもの、肩の處に凸凹があつたり、特に太かつたり、裂け目があるのはいけない。指先で彈いて硬い音のするのがよくそうでないのはスが通つてゐます。なるべく同じやうな太さで通つてゐるものがよく、葉と根の境に葉をむしりとつた跡のあるものはわるい。

×

豚ちり、こんなご惣菜ご存じですか。普通のちり鍋のやうに野菜豆腐などを用意して鍋を仕立て、豚肉の薄紅いろの上肉を入れ乍らたべます。味は醍醐味の方があふやうです。一度お試し下さい。

**年賀名刺の交換會**

例年の通り、新年號誌上で年賀名刺交換會を催します。一圓と五十錢の二種と致しましたから、御希望のお方ははがきで至急お申込下さい。



# 米國に於ける戰鬪的婦選運動 (Jailed for Freedom)

ドリス・スティーブンス著
藤田たき抄譯

## 七、沈默の哨兵（二）

一九一七年一月十日の事であつた。沈默の哨兵の一隊ははじめて白亞館の門前にその姿をあらはした。「大統領閣下。いつまで我々はまたねばならぬのですか。」と大書した長旗を手に女等は大統領を張番して日ねもす立ちつくした。

『馬鹿な女め。』『ふん。あれでも女性だとさ！』『きちがい婆め！』『あんまりだ。』

しかも勇敢な女等はつらい監視を續けるのである。今日も明日も、明後日も。

哨兵の種類は樣々であつた。從つて張番に對する感想も樣々である。美々しいリモジーンを驅つてたゞの二十分張番し暖いクッションにもたれて引き上げるレデースにとつては、張番も時にとつてのなぐさみでもあつたらう。ワシントン滯在數日の寸暇を盜んで白亞館の門前に旗手の役をつとめる事は勿論榮ある仕事でもあつたらう。然し來る日も來る日も立ちつくす眞面目なる鬪士の心には、決してその錯覺はおこり得ない。彼女等の一人として張番をほこらしきものと思つたものはない。尙更に甘い陶醉にふけつたものもない。結局彼女等は哨兵である前に人間なのだ。女なのだ。『あの人はいつ代りに來て呉れるのだらう。もう一時間半もたつてるんだもの足は氷のやうだ。』之が彼女等の僞らざる告白であつた。

ひるがへつて張番に對する大統領の態度や如何に？　最初に彼は哨兵の姿をほゝゑましくさへ見たらしい。恐らく彼は彼がサフラジスト中の極左と見なす彼女等の行動は決して大衆の支持を得ないと高をくくつてゐたらしい。冬も漸く酣に

寒風肌を刺す。しかも女等はまだ頑强に張番を續けてゐる。車の窓ごしに帽子をとる慇懃なウヰルソン大統領は、私等哨兵に憐憫をさへ感じ守衛に命じてあたたかいコーヒーを振舞ふと云ふのだ。しかし此の情はうけられぬ。私等の張番はまだ大統領の神經をいらだたせてはゐないのだ。

さりながら世界大戰への參加が愈々その確實性を帶び來りウヰルソン大統領の世界的飛躍の漸く開始せられた時、この張番は大統領にとり政府にとり手におへぬ苦勞の種となつたのである。デモクラシーに對するウヰルソン大統領の深甚なる信仰の陳述は、我々サフラジストに大統領攻撃の爲の好材料を供給して呉れた。

考へても見られるがいゝ。貴君に借金がある。返濟の期限はとくに來てゐる。かし主が毎日貴君の門前に立ちつくし、沈默の中に貴君が借金を拂はぬ事を天下に公示してゐるのである。貴君だつたらどうするか？貴君は腹をたてるだらう。貴君は彼を罵倒するだらう。貴君は彼を警察に引き渡す横暴をさへ敢へてするかもしれない。けれど醜聞は既に洩れてしまつたのだ。最後に貴君は降參するでせう。さうです。貴君は最後に降參するでせう。而してそれが女等にとつてたつた一つの重大な事實です。

世界各地より大統領を訪れる重大使臣は、白亞の門前に立ちつくす哨兵に目をとめる事なしに門内に車をかる事は出來ない。道行く人も長旗に鮮かな悲痛なる婦人の沈默の叫に盲目ではあり得ない。

『しつかりなさるがいゝ。』……『私はほんとうに貴女方の勇氣に敬服する。』……『貴女方の當然なる權利を貰ふのにこんな事をせねばならぬとは言語道斷である。オーストレリヤではとくの昔にこんな問題は解決されましたよ。』翕然として聚る同情と理解の言葉。

## 八、戰爭か平和か

一九一七年四月二日第六十五議會は召集された。之こそは世界大戰への參加不參加を決すべき劃時代的なる臨時議會であつた。而してこの日も相もかはらず沈默の哨兵は白亞の門前にその姿を見せた。おまけに新たなる一隊は、今日はキャピトルの門前にさへ整列してゐる。

此日のキャピトルのすさまじき光景！各州より馳せ參んじた純白の徽章美しい平和論者とアメリカ小國旗を胸に濶步する主戰論者！戰爭か平和か最後のどたんば。物狂ほしき彼等！

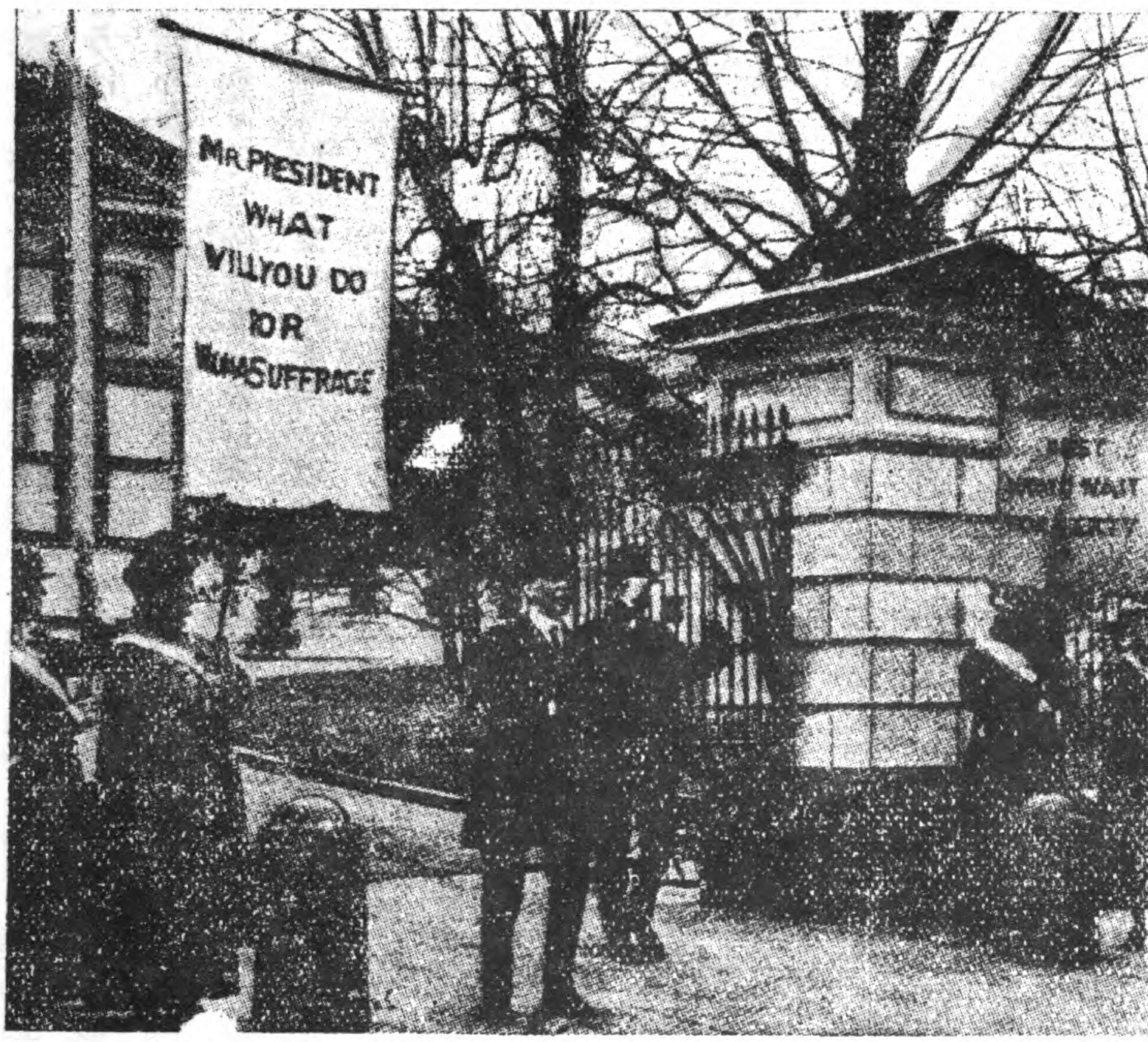
さりながら二週日の後、遂ひに宣戰は布告された。『我等は

常に我等の唯一の誇とせし尊き寶、即ちデモクラシーの爲にのみ宣戰を布告したのである デモクラシー世界建設の爲にこそ我等は富も命も、凡て我等の持てるものを捧げつくして悔いぬであらう。』なんと素晴らしいウヰルソン大統領の聲明！之こそ我等女性に我等の爲のデモクラシー獲得の戰の正當さを裏づけて呉れるありがたい言葉である。

『ウヰルソン大統領は帝國主義戰爭をデモクラシーの爲の十字軍と變ずるであらう。』

『貴女方の小い戰をやめて、獨逸をこらしめる我々男子を助けて下さい。勝利の曉は必ず御禮心に參政權を差し上げますよ。』

今こそ我等女性は態度をきめねばならぬ！馬鹿な。今更何を周章狼狽し。我等の態度は既に宣戰布告前に開かれた婦人黨大會に於いて立派に決定せられて居るのだ。大會に集る一千名の代表は、勿論個人としては平和論者もあれば熱心なる主戰論者もあつた。然し彼女等は完全なる滿場一致を以つて婦人黨は婦人參政權獲得を唯一の目的とする團體にして、その目的貫徹の爲にのみ戰ふものである事を宣言した。



寫眞は白亞館門前に立てる沈默の哨兵とウヰルソン大統領

きつておとされた世界大戰爭の華かにも雄大なるドラマに對抗し、如何にすれば我等女性のデモクラシーの爲の戰を劇化し宣傳し得るかの問題については頭をなやまさゞるを得なかつた我等は一票の權利なき無力なる市民である。且つ我等の用ふる武器は男子のそれではない。同じくデモクラシーの戰と稱するその戰に、男子の用ふる武

器のおそろしさ！銃劍、機關銃、毒ガス、タンク、爆彈！人智の限りをつくした科學的發明の粹！

ひるがへつて我等の戰術や如何に？我等は單純にして平和なる沈默の戰術、即ちいつもながらの我等獨特の武器、長旗をもつて戰ひつゞけたのである。

英國使節バルフオア卿、佛蘭西使節ヴィヴィアン氏の一行が重大なる使命を帶びて白亞館を訪れしその日も、我等は白亞の門前に監視の哨兵としてたつてゐた。『デモクラシーは先づ國内にしかるべきである。故に我等女性は我等の爲の正義と自治を要求す』長旗に染め出されたる眞理の言葉。外國使節の前にそんなはぢさらしをされては困るんですつて？お困りになる事こそ私共の心からなる願です。ウヰルソン大統領を完全にきまりわるがらせる事が出來るその時こそ、我等の勝利の瞬間であるのだ。

一九一七年一月十日はじめて沈默の哨兵がその姿を見せた時から早くも六ケ月はたつた。而してその六ケ月の長き努力は終にみのり初めた。張番は必ずや婦選運動を却つて妨げるであらうの豫言を美事裏ぎつて、ミシガン、ネブラスカ二州は世界大戰爭のドラマをよそにまんまと婦選州になりおふせた。

婦選大衆支持の頻々たる表示、白亞の門前に女をたゝせる事の國辱感、この二はたゞ次の結果に終り得るのみである。即ち政府は婦人の要求する參政權を直に與ふるか、將、又、厄介至極な張番を斷然禁止するかの一を擇ばねばならぬ。而して政府は後者を擇んだのである。

## 九、最初の檢束

政府は壓迫の手段を擇んだ、沈默の哨兵の張番を禁止せんが爲に、政府は暴力による事をさへ敢えてしやうと云ふのだ。ロシヤ帝政の瓦解を壽ぐその最中に、自由の國アメリカの政府は、その國の女性に對してロシヤ帝政主義の遺物をふりかざしてゐるのだ。この掩ふべからざる事實は、我等に新たなる政府攻撃の術策を投げて吳れた。

ウヰルソン大統領は他の聯合國と共に、あの戰につかれた瀕死のロシヤに血みどろの戰爭を尙も續けるべく懇願せんとて使節を送つたのである。ロシヤを說服させんとする自由の國アメリカの民主々義的熱心さは、使節、エリユー・ルート氏をして米國は普遍的なる、直接、平等、無記名投票制度を有する國なりとメートルをあげしめたのである。直に我等はこの陳述をたてに大統領をせめたてた。ロシヤも亦我國へ使節

を送った。而してこの時こそ政府の虚言をあばく絶好の機會であつた。或る六月の美しい日であつた。ロシヤ使節の車が白亞館の門を通り過ぎる刹那、沈默の哨兵のふりかざす長旗につゞられた使節におくる言葉。『ウヰルソン大統領とアメリカ使節ルート氏が、米國はデモクラシーの國であると申立た時、彼等は虚言を吐いたのである。我等アメリカはデモクラシーの國にあらずと斷言する。何故ならば二千萬アメリカ婦人は一票の權利をさへ持たぬから。しかもウヰルソン大統領こそは、婦選の爲の憲法改正を拒む急先鋒である。希くばアメリカデモクラシー建設の爲、貴國即ち自由の國ロシヤの友邦の名を恣にする前に、アメリカはまづその國民を解放せねばならぬと云ふ事を我等の政府に敎へられよ。』

・翌朝の新聞は我等が外國使節の前に愛する祖國を辱しむる非をならした。しかしその責任は政府にある。何故ならば恥づべき事情をあらためて自由の國、眞のデモクラシーをもたらす力は、政府にあつて一票の力もない女性にはないのであるから。

とは云ふもの〻隨分つらい政府の立場。このにくむべき婦人の暴露戰術は是が非でもやめさせねばならぬ。非常召集の呼子に慌しく集つた當路の要人。婦人黨本部閉鎖命令を眞面目に提案するものもある。本部へ踏み込んで會員をひつ捕へるか。しかし何の科で。

やがて警官は本部を訪れて、直に張番を停止する事を要求し若し命令に背く時は、有無を云はせず拘引する旨を言ひ渡した。

『私等は過去六ケ月一回の拘引も受けず張番を續けて來た。法律が變更されたのですか。』ミスポールのすかさぬ質問である。

『イエ。しかし張番はやめて貰はねば困る。』

『でも私等は辯護士ともちやんと相談して張番が決して不法行爲でない事を知つてゐるんです。』

『だが氣をつけるがい〻。張番したら拘引するぞ。』警官はひき上げた。

翌日ミス、ルース・バーンスとミス、キヤサリン・モリーは白亞館へと出掛た。而して彼女等の手にもてる長旗には、ウヰルソン自らの言葉が書かれてゐた。『我等は常に我等の唯一の誇とせし尊き實、即ちデモクラシーの爲にのみ宣戰を布告したのである……』

『沈默の哨兵拘引されん』の新聞報道に集つた野次馬連は、二人を取り圍んだ。十分たち、二十分たつた。しかし巡査の

姿も見へない。失望せる群集は間もなく四散した。たゞ二人の旗手をのこして。しかしおくればせにあらはれた警官は二人を拉し去つた。警察に到著したミス、バーンスとミス、モリーは如何なる罪名の許に拘引されたかをたゞした。その時の警官等のあはてさ加減。アメリカ市民は張番する事によつては拘引される事は出來ぬ。オフイスの戸はあいて戸はしめられた。ひそ〳〵と耳打はつゞいた。六法全書はくられた。時はうつる。而して到頭、人あとたえた白亞の門前で拘引された二人は、交通妨害の罪名を申渡された。（續く）

## 新年號特別讀物豫告

### ソヴエト風呂

ゾシチエンコ
大竹せい譯

現代ロシアの有つ最大のユーモリストの目に映る現ロシアの社會相。譯者の妙腕に作者の諧謔を傳へて餘りなし。名作、名譯。

### 霧社のことども

北村スヾエ

今春迄霧社小學校に在勤した埔里在住の女教員の手記、女性の目に映じたいつはらぬ感想は、直ちに讀者の胸に迫らう。

## 掲示板

| | | | （主催） | |
|---|---|---|---|---|
| 熊本 | 講演會 | 十一月廿九日夜市公會堂 | 支部 | 市川、金子 |
| 同 | ラヂオ | 同日午後 | | 市川 |
| 廣島 | 講演會 | 十二月二日夜市公會堂 | 支部 | 坂本、金子 |
| 大阪 | 講演會 | 四日夜 | 大阪時事 | 市川、坂本、石本、金子 |
| 神戸 | 座談會 | 五日 | 神戸新聞 | 同上 |
| 同 | 講演會 | 六日夜 | 同上 | 市川、河崎、石本、金子 |
| 京都 | 支部發會式 | 七日午後 | | 同上 |
| 同 | 講演會 | 同夜京日講堂 | 京都日日 | 同上 |
| 德島 | 講演會 | 同夜九日壹 | 德島毎日 | 市川、金子 |

秋田支式部發會式　十二月六日



# 海外だより

×

ドイツ聯邦議會の總選擧が行はれた結果を見ると、共産黨を最左翼、ファシストを極右として大小十五の政黨がずらりと並んでゐます。世界を吹き捲くる不景氣の嵐はドイツにも深刻で、失業と生活難に喘ぐ人心は、水の流れの低きにつくの勢で無産政黨へと押し出した。ところが無産政黨だつて何等の政策を持ち合はせてゐるわけではないらしい。ところで婦人議員の當選如何と眺めてみると、一九二八年の總選擧では四九一名の議員中女流三九名だつたが今度は五七五名中三五名です。前よりは少なくなつてゐるがそれでも世界ではたしか一番女流議員の數が多く、しつかり者もなかなか多い。隨つて從來のやうに、或はもつと、婦人子供の福利增進のために貢獻するところが多からうと思はれるのです。

×

印度問題に關してこの十一月ロンドンで開催の圓卓會議には英印兩國代表が集ることになつてゐましたが、それについては、ぜひ婦人の兩國代表を參加させなければいけないといふので、婦人自由聯盟が發起して諸婦人團體の記名調印を集め、總理大臣と印度大臣とに請願書を提出したことは既に報じましたが、その結果シア、ナワズ夫人とサパラヤン夫人とが、光榮あるこの代表の要職に任命され、印度將來の運動を左右する大問題に就て協議に參加することになりました。そこで、英國側からも敢て少くも二名位は婦人代表を出さなければ、英國の體面にも係はらうし、英國婦人の面目も丸潰れだと騷がれてゐますが、果して誰が選はれたか、それは次號あたりでお傳へが出來るでせう。

×

今年の臨時議會で、トルコの婦人は參政權を獲得しました。

×

南米では、アルゼンチンのサン●ジュアン州で選擧權が婦人に認められてゐるし、ブラジルのリオ●グロンド●デルノルト州で婦人の選擧權が認められてゐます。ところが今度エクアドルでは男子同等の婦人公民權が認められて南米、及び中央アメリカ最初の婦人公民權獲得だと喜ばれてゐます。

×

國際聯盟がゼネバに在るからには、國際平和擁護の上からも、國際的に共通な運動を進めるためにも是非とも必要だといふので、世界的に有名な數ケの國際婦人團體が聯合常置委員會を同地に設けて、聯盟の各委員會の事業を積極的に援けて來ましたが一方、最近には婦人の權利擁護の上からも非常に重大視された結婚と國籍問題の聯盟會議に國際婦人參政權及同等市民權同盟と國際婦人協議會とが聯合して有効な働きをすることが出來たなどの實例もあり、今後諸婦人團體間に共通の政策を實現するために眞に結構なことであるといふので、引つゞき聯合委員會を置くことになりました。

國際聯盟會議は九月から引きつゞき開催されてゐて、諸國の婦人代表、種々な婦人團體代表、婦人運動者達が大分入り込んでゐますので、國際婦人參政權及同等市民權同盟では、アシュビー會頭を初め會計、書記その他の役員が出張して、それらの人々を歡待し激勵する一方、お互の意見交換、共通な運動の打合せなどもすることが出來ましたが更に、

九月九日、同地に開かれた世界平和大會には、世界平和の促進は右同盟年來の綱領でもあり多數出席して世界平和の促進について議しましたが【副會頭のマラテル●セリエ夫人は翌十日ヴヰクトリアホールに開かれた大演說會で夫人特有の雄辯を揮つて婦人に完全なる參政權を賦與することは世界平和を促進する原動力であると述べ、一大センセエションを捲き起しました。

（宮川靜枝）

漫畫小說 **東京見學記**

萩の下枝女史作
森 鑛 畫

## 八、地階の椿事
――小動物出現のこと――

一九三〇年の年が暮れると共に、私のこの見學記も終末を急がなければならない。といふのは、いよ／＼姉たち一家のアパート生活が切り上げとなるからなのである。
所で、この終末の記錄に、私はまた何といふ特別な內容を有つ事になつたのであらう。
事件は十二月初のある午後に起つた。もう東京の街々にもすつかり冬が來て了つた事とて、アパートのコンクリートの裸廊下はだん／＼冷え／＼と靜まり返つて行つたが、この二三日は、ふしぎに小春に返つて、暖かゝつた。
『可津ちやん、お豆腐やさん呼んで頂戴。』
私が味噌漉しを提げて表に出やうと、臺所の戶を明けると異樣な物音と臭氣に、私の神經が、一度に地階に向けられたのだつた。でもおとなしくお豆腐を買つてから、私は、それを臺所口に押し入れたまゝ、默つてスリッパのまゝ地階の方に二三段降りて見た。
さてその地階の光景といふのは、それは恐らくは、誰だつて、全く想像もつかないものであつたのである。私は餘りの事に、そのまゝトン／＼／＼と、下まで、降りて了つた。
『一體どうなさつたんですの』
それが私の唇を出た最初の言葉である。
『どうしたも、こうしたもないのよ、可津子さん。』
スエター姿の上から割烹前掛をかけて首玉に襟卷をまいた上からは、大掃除の時のやうに手拭を鼻とも口ともつかぬ邊に蔽つてゐる菱岡女史は息をついた。
『ヤハヽヽヽ、何しろ大變な目にあはされてゐるんですよ。』
援軍來れりとばかりに叫んだのは、二階より地階の方が庭が少しでもあつていゝといふので、一月ばかり前に一階下にすみかへた獨身畫家のAさんである。
これは又ね起きを脅されたらしいパジヤマ姿で、片手に小さいアルミの湯沸しを下げ、片手にしゆろ箒を下げてゐる。
菱岡女史の手にも同じく箒がある。何さま、何事かの事件發生とは見えたが、

「何だか大變臭いんですのね。」
私はまづきいてみる。
『それがあんた、臭いだけならいゝですよ。所がソラ、ソラ、やあ、こゝにもゐる。』
Aさんは、いきなり私の立つてゐる足元に、シュッと湯沸しをかたげた。
『アッ…………。』
ほとばしるのが、煮湯だつたので、私はあはてゝ足をあげた。
『やあ、失敬々々。だがもうすぐ・長くなりやがつた。矢張熱湯が一番だな。實際頑强のなんのつて、大抵の殺虫劑ではのんこのしやあつていふんだから……』
やりきれないといふ風に、Aさんが箒の先につゝくものはと見れば……皆さん、ご飯前の人は、こゝから先は、すましてから、それもすつかり胃の腑がおちついてからにして下さい。なぜなら、その箒の先きに動いた白い小さいものは、全くわれ〳〵の住む家の床の上には、決して〳〵一しよにわれ〳〵が存在する譯にはゆかない小動物であつたのである。



一體十七軒も八軒ものごみがこんな小さいごみ箱じや到底始末しきれない上に、ごみ掃除の人夫がまたこんなにたまつてゐちや、決して下まで取り切つた事はないのですからね。』
事件の中心人物は、人間ではなくて、夏季よく設備のわるい便所——といつてもそんなのが日本中の九割九分だが——の中で活動してゐる小動物だつたのである。おゝ、神樣。
それにしても普通の住宅より文化的であるべき筈の、たしかにさうだからこそ、ごみ箱も十八軒分共有の——アパートメントに於ては普通の住宅で、この十二月といふ寒空にはおめにかゝりたくてもかゝれない、こうしたものにめぐりあへるとは、これは一體何とした事か。
『アラ、大變なところにゐらつしやいましたのねえ。臭くつてお困りでせう。』
折から株屋さんの台所からお内儀さんの眉のそりあとの青い美しい顔がさしのぞいて、大きな藥罐が出た。

『さあ、Aさんの旦那、菱岡先生も、わきましたよ。』

十八戸分のごみを一ヶ所に集めたごみ箱は、地階廊下の中央部の壁の中にはめこれてゐる。だが、市役所から東京市のマーク附の車をひいてごみ取りに來る人夫さんたちは、この大きなごみ箱に對しても、隣近所と同じ回數しか廻つてこない。そして來た時も、小さいごみ箱のやうにひつくり返して底までさらつてゆく事はない。何しろ作りつけである上に十八軒分のごみが、全く他の一戸毎のごみ箱よりも、遙かに多種類、多量に入つてゐるからである。

『一軒づゝですと、お魚の骨にしても入れないとか、硝子のこわれなんかも別にとりのけておくとか、それ〴〵やりますけれど、こういふ所では皆さん見えないのをいゝ事にして、何でもかでもといつたら、本當に、この間なんか、何だかつまつたと思つたら、大きな空俵を三階から放り込んだ方なんかありましてね。』

株屋のお内儀さん つく〴〵あぐねたやうに、芝居の女みたいに、手首を帯の間に入れてぐつたり首を下げる。




昨夜は徹夜で急ぎの原稿をかいて、今日は半日眠つてゐた菱岡女史が、Aさんの頓狂な聲に驚かされたのは十二時前でそれから二時半、こゝではこういふ珍妙な鬪爭が續けられてゐたのださうだ。

『何しろこの二三日の陽氣で、奴さんたち返り咲きと洒落たんですね。何の事あない、僕が洗面所に來るとこの廊下中を、のんきな道中なんですよ。』

これではパヂヤマもぬぐひまはない筈だ。

三軒がありつたけの防虫劑をまいたつて、彼等は決して參らないので最後に菱岡女史が、熱湯をかけたらこれは手もなく極樂往生といふので三軒の台所ではチン〴〵と湯がわき、三軒の人々は、この異様な共同運動に、カラもう咳拂ひ一つ出せない緊張といふ次第だつた事は、判明した。

こゝ迄來る間に、私の胃の腑も神經も平靜をとり返した。

嗅覺も、むせるやうな藥の香に慣れたのであらう。
その晩、各階のごみすて口に、次のやうなポスターが、はられた。
明朝十時迄ごみをすてゝはいけません。
全アパート居住者のために。
それでも違反者の出さうな形勢に、三階は無産黨氏、二階は私が見はり役といふ事になつた。
即ち小動物退治の爲に、この煙突式のごみすて場を一番下から火をたく事になつたのである。そして我が菱岡女史は自分から翠明莊十八台所の意思を代表して、區役所の衛生係の許に、今後の取締について大いに文句をもちこんだ次第である。

## 九、アパートの訣れ
### ——さらば四ケ月の生活よ——

蛆も片づいた頃、又ぞろ地階にもう一事件出來した。殺虫劑の臭氣の充滿した廊下が一ケ月ならずして線香の匂ひにみたされる事が起つたのである。
株屋の小父さんが死んだのである。返り陽氣も落ちついて朝毎に霜が白くなつてゆくのがめだつたが、そのある朝に、私たちは腦溢血で冷くなつた小父さんと、目をなきはらした小母さんを發見したのである。
「アパートのお葬式まで見やうとは思はなかつたな。」
こんな言をいひ〲義兄も紋付羽織を着て、お線香を上げに地階に行つた。お經は木魚の音と共にコンクリートに響きお棺は、地階の階段につつかゝり乍ら、地上にかき出された。葬式にはふだんみかけない親類が澤山來て、ふるまひ酒の事から血の雨ではないが、かなりのつかみ合ひをやつた。
お寺で卒倒したといふ小母さんは、その後しばらく床を出られなかつた。
小學校も出ない内に、養女にやられ、養家の沒落から一時は左づまをとつた小母さんは十九で小父さんに引かされてから全くの箱入り嫁で五年の月日を、子供もなく、まるで漱石の『門』の夫婦のやうに、抱き合つて暮して來たのだつた。
「ことしの冬の爲につて、この通りみやこまでかつて來てくれた日に、佛さまになつてしまふつて……」
小母さんは姉の前でもないた。細い襟元に後れ毛がほつれて歌麿式の美人の小母さんは、何だか其まゝ消え入りさうに見えた。
その内に、年の瀬が近づき、私たちはこれも又全く豫期し

てゐなかつた義兄の友人が外遊する事になつた爲に、郊外の小さい洋館に、留守代りにすむ事になつて、さうときまれば正月は新居でとクリスマスがすむと、すぐ年内に引うつる事になつた。寒くなると、稍喘息氣味の母からは、舊のお正月迄には歸るやうに手紙も來たので、私も全くあはたゞしく、東京見學の最後の幕を下さなければならなくなつた。

いよ／＼引こし荷物を出し切つて了つた廿九日私はそつと地階に下りてみた。

『お引こしなさるんですつてね。』

水道場に麻裏草履の音もつめたく小母さんが歩いて來た。

『私もねえ、二間なんか入りませんし、四十九日がすみましたら、どこかへ間でも借りませうと思ひます。昨夜も菱岡先生に願つて、夫の故郷の方へ手紙をかいて頂きましたから、何とか佛のお守りする位の仕送りは貰へるやうになるかもしれません。

この間も少し物をうりましたら、その屑屋のぢいさんが自分の家の二階をかさうつていふんですけど、何ですか、手なんかを握つたりしていやですから斷りましたの。

ねえ、お孃さん、私なんか昔もんで、本當にあるじまかせで、御飯のおかづ迄いゝといつても買つてくるあるじでしたので、全くいくぢがなくてお恥しいんですけど、でもこれからはせめて長唄でも敎へて、佛さま相手に、いのちのつゞくだけは生きる他ないと思ひますの。』

唐棧の袢纏の襟をかき合せ乍ら、小母さんは、細い聲でいつ迄も／＼話を切らなかつた。

『こゝの先生でもさうですけど、お孃さんなんかこれから、いゝ目をなさるんですから、本當に私たちみたいないくぢない目にはおあひなさる譯はないけど、どうか御たつしやで……』

私もいつの間にか泣き出しさうにしめつぽくなつて了つた。

今日は朝から議會の方へ行つて、いつ歸るか解らない菱岡女史の扉の兩側には誰がつけたか手まはしよく門松がうちつけてある。

こんな年の暮をしやうとは、全く思ひもうけなかつたけれど、こゝの四ケ月の生活で私は、田舍の家ではふれる事の出來ないものに數多く出あつた事だつた。

『小母さんもおたつしやでね。その小父さんの覺悟がどんなに小父さんを喜ばせる事でせう……』

折から迫る夕やみの中で、私は年上の女の人の肩をなで、自らもしづかな泪をのんだのであつた。(完)

## 本部の日誌より

**十月二十三日(木)** いくら村長さん達が地方の婦人達は、婦選なんか欲しがらないのだと、力むで見せても、時勢は北陸に婦選大會を開かせる運びに迄なつたのである。本日其の北陸婦選大會の通知を富山、石川福井、新潟の各會員に出す。東朝の竹中、婦毎の井上、萬朝の記者氏等來訪。新潟の珍客小出ちか氏をも迎へた。

**二十四日(金)** 午前十時より職員會議を開き、皆で仲よく能率を擧げる相談をする。午後一時から出版委員會。會員の大野華子さんお手傳ひに來て帶封を書いて下さる。

**同二十七日(月)** 午後六時から銀座信華で兒童保護施設に關する座談會を開く。

**同二十八日(火)** 小泉は病氣で休んだが、金子、宮川吉例により出校正。他も皆元氣である。北陸の大會に皆が出掛けるので中央出版の兩委員會の定例金曜日を本日に繰上げて開いた。

**同二十九日(水)** 夜、政教委員會を開く。

**同三十日(木)** 調査の乘杉氏、ネッスルミルク社の土屋氏は廣告の件にて、伊豆の大谷氏も亦來訪される。氏のお土産の枝つきの蜜柑に伊豆の初冬の空の冴えを偲ぶ。北陸大會の下準備の爲、金子一足先に金澤に向け出發。

**同三十一日(金)** どしやぶりでも晦日は晦日雨を冒して大橋、宮川、兒玉集金に歩く。「婦選」本日校了。

**十一月一日(土)** 「婦選」の納本を濟す。市川、横濱に、アメリカから歸つたお姉様を迎へに行く。宮川と森は遲く迄かゝつて帶封の整理をする。多忙の持越しで、朔日も晦日の續きのやうな氣がするばかり。

**同二日(日)** 「婦選」の發送が今日になつたので、宮川、森、兒玉が雨の中をやつて來る雨と仕事に打のめされたのか、今日は三人共餘り與太らない。實は出來るだけ早く集る約束で、三人の中の二人は朝飯も食べずに出掛けて來た次第。發送を濟ませ、金澤に屆ける荷物をも整へ、市川外中央委員のオールスターキャストを北陸婦選大會に送つて、まづ〳〵ほつとする。

**同三日(月)** 今日は北陸四縣の婦人達が金澤市公會堂に會して、婦選の第一聲を擧ぐる日である。自づと盛會が祈られる。外の明治節の賑ひに引代へ、兒玉は休日を利用して國に母を訪ねに行つたし、火の消えたやうな淋しさの中に、宮川一人事務所を守る。

**同四日(火)** 北陸大會の第二日。事務所は今日も宮川一人。北澤たま氏聯合婦人會に出席する。

**同五日(水)** 兒玉歸京、森、小泉も出勤政教委員の保坂かつ子氏時事問題研究會準備の爲に來訪さる。

**同六日(木)** 金澤より同盟旗其他の荷物が送り屆けられる。本部からの出席者もぼつ〳〵歸京の樣子坂本理事より電話にて大會の盛況齎されて、留守居の者達を喜ばす

**同七日(金)** 時事問題研究會の通知を出す

**同九日(日)** 市川北陸大會終了後、福井縣下の講演を終つて本日歸京。

**同十日(月)** 夜六時より神田文化學院に於て、時事問題研究會開かる。講師は中外商

### 吸取紙

▼秋田の和崎さんと言へば四月の婦選大會以來斷然有名になつた人で恐らく知らない事の方が不思議な程人氣の焦點になつてゐます去三日四日の北陸婦選大會へは勿論秋田からとびつけましたが、その歸りの汽車が、例の親不知で、ひつくりかへつた汽車なので、本部はじめ大心配しましたが幸に無事どころか、逆に元氣千倍、見舞をのべる人に答へて曰く「有りがたう、いやどうしまして却つて評判になりましてね」大に北陸婦選大會の報告から婦選のプロパガンダにまで逆用したとは、轉んでも只起きないとはこんな人の事でせう。

▼北陸大會では、支部の人達の眞劍さに東京側はいさゝかたぢ〳〵としたらしい樣子ですが、中でも米山女史の議長の智識獲得ぶりといふのが余りにも眞劍なので相手になつた金子女史「急所〳〵をビシ〳〵と質問されるので全く汗をかいた」さうです。二「特に議事法を勉強したわけではなし、思ひ浮べるのは粕谷さんの面影、あの議場の有樣を頭の中で辿り〳〵、次には『御異議御座いませんか、なければ……』とやる、

業の經濟部長小汀利得氏、出席者二十一名にて來年度政府豫算案の批判を聽く。此の研究會は引續き毎月開かれる事に決つた。

同十一日(火) 市川午後三時半より某幹數女子青年會のお茶の會に出席。中央委員會の通知及報告を出す。

同十二日(水) 北陸大會終了後、福井、京都、大阪、神戸の講演會其他の奮闘を了へて金子本日歸京。流石に些かの疲勞のあとが窺はれる。多數の入會者をお土産として持參。

同十三日(木) 市川國際連絡委員會へ出席來訪者、國際の日本社の三原正雄氏。

同十四日(金) 午後一時より事務所にて共同委員會を開く參政權協會からは千本木、石塚の兩氏、參政同盟からは高木、高橋の二氏婦選から市川、金子が加はつた。午後四時から出版委員會、引續き七時より中央委員會を開き、北陸大會及地方遊說の報告に賑ふ。地方婦人の眞摯な態度には誰も誰も打たれて來たのである。

同十五日(土) 政教委員會及大森故寄會の通知を出す。

同十七日(月) 金子、大橋の二人で、久布白氏に贈る紀念品を求めに行く。氏の全身を寫して尙餘りある大きな鏡臺、柔かいお蒲團などが買整へられる。久布白氏定めし花嫁御寮らしい微笑を浮べられることであらう

同十八日(火) 會員の綱野惠氏甲府講演會打合せの爲に來訪。例の職員會議を開く。午後五時半より大森の坂本理事宅にて理事會及大森故寄會を開く。出席者十三名、此處にもよき將來は約束されてゐる。

同十九日(水) 久布白氏病氣にて神田の百瀨病院に入院中の由、取急ぎ大橋見舞に赴く、さとに歸つた母親の身の上を案じるやうな氣持が、皆の上に動いてゐる。市川共同運動の件にて參政同盟に赴く。出版部、新年號名刺交換の準備を、調査委員會は夜事務所にて委員會開催。

同二十日(木) 夜、政教委員會を開く。

同二十一日(金) 午後二時より出版委員會新しく平井恒子氏を委員會に迎へて、大いに陣容改り、一月號の計畫は着々と進んでゐる。夜、中央委員會、各委員會の活潑なる運動報告、關西、四國、中國、九州地方に於ける遊說計畫、各地方の支部發會式、準備會の報告など、獲得同盟の鳳翼は將に張られやうとしてゐる。折柄上京中の秋田の和崎氏を傍聽に加へて意氣大いに昂る。

同二十三日(日) 市川、坂本兩理事、甲府の講演會に赴き同日午後六時より同市商工會議所にて出演。

同二十四日(月) 夜、市川宅にて出版委員會及創立記念會餘興委員會開かれ、凝議深更に及び散會。

同二十五日(火) 遊說、記念會準備、編輯にて多忙!多忙!多忙!。

---

それを米山さんが一々帳面に書きつける、全くヘト〳〵になりさうでした」と流石の金子女史も白狀してゐました。近江源氏先陣館のセリフぢやないが「覺えも覺えたり數へも數へたり」以て米山女史の名議長振りが目に見える樣です。

▼いつも總務理事が引合に出されるやうで氣の毒でもあり、現にそんな非難もあつたのですが、然し矢張り何と言つても婦選第一のゴシップ、メーカーなので如何とも致し方ない次第です。つひこの間も出版委員會を市川さんの家でした事がありましたがこの夕方事務所でのこと。朝出がけに掃除をして來なかつた事が曝れて金子女史にさん〲文句を言はれ、言ひ譯二三、とどのつまりが形勢急變、「何も私が御招待するんぢやありませんからね、私は單に私の家を貸して上げるだけの事よ」トン、トン、トンと階段をとび下りて行つてしまつたので一同何とも申上樣もなく、三拜したことでした。

# 談話室

×

當地ご遊説の節は何の風情もなく失禮の數々平に御海容の程願ひ上げ候皆様のご雄辯に初めて接したる當地人も遅れ乍ら共鳴いたし居り候。今後益々ご自愛の上邦家の爲倍加のご奮闘の程願上候

（福井縣　吉村直之）

先日は失禮いたしました。ご多忙中貴重な時間をおさき下さいまして敦賀でご講演下さいました事は、何より嬉しく存じました。微力乍ら先生方のご期待に背かないやうつとめて居ります。

（敦賀　田中ゆき子）

×

今度の大會へ不束者も列することを得、且つ諸先生と二日間親しくお目にかゝり、私の喜び此上ありませんでした。一層市川先生其他の先生方の御人格に接し、今は全く安心と希望にみちて、躍り上つて居ります。新聞ご覧の通り、此度死線を越した私の事ですから、再生のつもりで大に婦選のため力を入れますからご承知下さい。

金澤は亡夫の墓參も出來て私として尤も有意義でありました私は秋田人として必ずやりとげます。支部も十二月六日發會と確定、會員も卅五名になりました。

（秋田　和崎ハル）

×

今度は大變色々おせわ樣になりました。忘れられない嬉しい想ひ出を澤山にもつた會をいたすことの出來ました事は、お力の致す處と本當に感謝いたします。大阪でもおかげ樣で面白い方面をのぞき得まして感深きものを覺えます。次の日の力を養ひます。（金澤支部鈴木芳子）

×

電文にて簡單におしらせしたやうに、今度の目的を同志に計らんとして雨の中を疾驅しました。富山日拔きの場所にある北陸新聞社に昔なじみの淸水記者に面接。後援はポスター的廣告のみならず、細字、三面大見出しに紹介の勞を取ると誓はれました。今はたゞ次回の北陸御訪問を待望するばかりです。

（富山市　太田なつ子）

×

本日會合、種々打合、早速準備に取かゝりました。座談會も交渉中、三日の豫定です。明後日あたりより維持會員を誘ひに出かけます心組、かき舟の季節もまゐりましたね。今度こそはぜひ共とおまちいたします。

（廣島支部一同）

×

講演會十二月九日、確かに承知いたしました。本年は當地は大變あたゝかですし、いつも十二月は小春のやうな日がつゞきますから大丈夫。この春のやうに、お晝は女學生と婦人會の爲に夜は一般のためにご講演願ひます當地でも來る廿三日縣聯合婦人會が開催されますし、公民權問題などかなり考へさせられてゐるやうに思はれますので、前回よりも多數の婦人の聽衆があるかと存じます。

（德島　坂口あさ）

×

昨日婦人會館へ幹部が集まり下準備する事にしました。此節はどつちが本職だかわかりません。診察したり、婦人會の勸誘で夜を日についでの奮闘、全く金澤支部の誰方かみたいに東京の空をにらんで泪ぐむ回數が少くなりました。完全公民權でなければダメといふ事は、大分方々の婦人に分つて來まして嬉しくなりました。此際ひたおしに押してゆくつもり。花のやうな明石さんもあの苦しい體で猛運動。ギンガムの小母さんタヂタヂ。では來月お目にかゝりませう。（京都支部準備會黒部妙）

×

來月おこし迄に少くとも七人の會員はきつとこしらへますもう四人出來ました何卒十一月號を五部お送り下さい。

（同上　明石幸子）

×

案内狀も今日發送、私は私事であれこれ多忙ですが、幸ひ他の方達が大變了解して働いて下さつて、講演會準備着々とゝのひ中、何分よろしくおまち申上げ居り候（熊本支部山下恒子）

×

其後はごぶさた申わけありません。市川たま子女史の講演會をその中開くことになつてゐます。議會開會も近づいて來ていろ〳〵お骨折おさつしいたします。名古屋でも何かなさいますか、おしらせ頂けば準備いたします。

（名古屋　小尾ふさ）

## ・・・●編輯室より●・・・

——いよ／＼今年も終りますね。顧みて悔ない程、働くには働らきましたが、然し一月として、理想と現實の間に喘がなかつた月はありませんでした。勿論それだけに來年こそといふ心もちで今いつぱいです。何卒來年もお見捨なく、ます／＼正しい成長を遂げますやうに、御もり立て下さいませ。

——お願がさきになりましたが本月號は歳暮號だといつて手を拔く世間の營利雜誌には見られない充實ぶりをご覽に入れられて嬉しいのです。研究欄の新設婦選講座の內容改善など、如何でせうか。

北陸大會の諸記事、きつと出席された心地がなさると思ひます。例により六號ものも滿載です。繙譯も誇るべきものです。

東京見學記は惜しくも終りますが、來年には、更に素晴らしい諧謔ものが控えてゐますし、藤田氏の譯はまだ少し續きます益々緊張した鬪爭場面のご紹介がつゞきます。

——われ／＼の陣容も最近漸くとゝのつて來ました。私は編輯主任の名は負つてゐても、遊說その他本部へかけもちに忙しいのですが、この頃は森鑛氏が隔日勤務で、宮川さんと、三つ巴の大童ぶりの奮戰が出來る事になりました。出版委員一同なかなかの熱心ぶり、それに加へて新らたに參加の大竹、平井二夫人も應援してくれます。來年こそはと力むのも空なわけではない事をおわかり下されるでせう。では何分よろしく、(私は又これから旅に出ます。(かねこ)

×

かつ飛ばせ、かつ飛ばせ、かつ飛ばせ、不景氣などは、かつ飛ばせ、と勞働服の洋服姿で、この頃では大分づか／＼と方々に出かけますが、それも婦選運動乃至政治敎育の軍資金の一部になるのだと、いふ婦選イデオロギーを楯に持てばこそで、これなど一つのプライドなくして、朗らかな顏で決して出來るものではありません。

それはそれとして、來年はもつと／＼興味津々たる「婦選」がお送り出來ませう。出版委員會の面々いづれも元氣で意氣軒昂です。(エス・エム)

×

小汀利得氏のお話は面白く讀んでいたゞけると存じます。政敎委員會では、引續き時事問題研究會を開催する豫定ですから毎月右の樣な記事で、紙面を賑はす事が出來ると樂しんで居ります。

×

目の廻る發送を了へてほつとする。月初めは少々のびて、二十日の聲がかゝると苛立つて、後は印刷屋籠城これを十二へん繰返したら昭和五年は、さよならです。

來年の希ひは、婦選の讀者が殖えることだけです。たゞそれだけです。これは神樣にお願ひしても始まらないことですから皆樣にお願ひ致します。では御機嫌よろしく、又春にお目にかゝりませう。(モリ、コオ)


**本誌定價**

▽一部　金二十錢(郵稅五厘)
▽半年分　金一圓二十錢(稅共)
▽一年分　金二圓四十錢(稅共)
▽特價提供婦選獲得同盟會員に限り
　半年分　一圓
　一年分　二圓(稅共)

誌代は前金で拂込は振替が御便利です、切手代用は一割增に願ひます

**廣告料**

廣告御希望の方は御一報次第、料金その他御通知いたします。

昭和五年十一月廿九日印刷納本
昭和五年十二月一日發行

東京市芝區南佐久間町一ノ一
編輯、印刷兼發行人　市川ふさゑ
印刷所　研文社印刷所

東京市麴町區麴町四ノ五
發行所　婦選獲得同盟
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番

■日本て唯一の帝國發明協會表彰權威あるお醤油

マルジヨー

(釀)最上醤油

(釀)甘露醤油

之れは日本一のおいしいお醤油でありまして何れのお料理にも好適の優良品であります。之れは世界一美味濃厚の特製品でありましてかけ醤油、つけ醤油としてなくてはならぬ最適品であります。




三越、白木、松屋、松坂屋、菊屋、龜屋、府公設市場其他有名食料品店にあります。本社へ御電話下されば市の内外を問はず直ちに無料で御屆け申ます。

無料配達

醤油 (釀)最上醤油 九升樽入 二リツトル壜入

(釀)甘露醤油 一升壜入 牛打化粧四合壜入

味噌 (釀)最上味噌

東京市小石川區表町

日本釀造工業株式會社

電話小石川 二一〇一六番 二二九四番

宮内省御用達

■日本唯一の日米特許の理想的完全のお醤油

---

東京 理化學研究所長 理學博士 鈴木梅太郎先生

赤堀割烹女學校長 赤堀旺宏先生 兩氏御推奬品

信濃名産

榮養美味

鯉こく罐詰

全國著名食料品店にて販賣します

料理の栞御申込の御方に差上ます

長野縣南佐久郡櫻井村

信濃養鯉加工株式會社製造

加工品目

鯉こく

鯉すつぽん煮

鯉とまと煮

鯉甘露煮

鯉燻製

鯉味噌

其他各種

---

市外東中野一七〇三(落合通り舊お富士山前)

東中野眼科院

診察午後 女醫 兒玉琴枝

---

アサガヤ眼科

診察毎日 女醫 兒玉琴枝

女醫 德永富士子

市外阿佐ヶ谷七七七川端市場通り驛ホーム際

内科
外科
産科
婦人科

院長 醫學博士 伊東常太郎
醫學博士 江守彌次郎
醫學士 末吉彌吉

# 池袋病院

省線 東京池袋驛東口東（改正道路）
市電 大塚辻町下車池袋驛行乗合自動車病院前下車

電話大塚一〇五三番・一六七七番

---

産婦人科
小兒科

随時入院の需めに應ず

診察 毎日
宅診午前
往診午後

院長 吉岡彌生
副院長 吉岡房子

東京市牛込區下宮比町四

# 東京至誠病院

電話牛込三五五番

---

産科婦人科
小兒科

随時入院の需めに應ず

宅診午前
往診午後

院長 竹内茂代

四谷區三光町一

樹徳堂

# 井出醫院

電話四谷一四六〇番

愛兒女性協會產兒制限相談所主任女醫　尾崎豊子女史に

# 「姙娠調節」の秘法を聞く

**記者**　無定見な出産が家庭を暗くしたり、生れた子供自身の健康を害したり完全な養育が出來なくなつたりする場合が非常に多いので、理解のある婦人は家庭經濟の收容力を考慮して姙娠を調節すると申しますが。

**尾崎**　全くさうです。又經濟上のさしつかへがなくても、姙娠してならない體質や病氣の婦人もありますし、母體は健康でも完全な養育の爲めに出産と出産との間に適當な間隔をおくために、調節する必要があります。

**記者**　先達の新聞に姙娠調節と墮胎とはどうちがふかといふことについて警視廳と醫師との間に問題が起つた、といふことが出てをりましたが‥‥。

**尾崎**　避姙といふ事、即ち姙娠を調節するといふ事と墮胎といふ事はずい分混同して考へられてゐますが、母胎の内に受胎作用が始つてから、それを取り出さうとするのが墮胎で、これは病氣その他特別の場合のほかは法律で禁止されてゐます。しかし受胎作用の始らない前に、受胎しないやうな豫防をする避姙、調節は勿論何のさしつかへもない事です。

**記者**　では誰が行つてもさしつかへなく、しかも立派に目的を達することのできる調節法があるのですか。

**尾崎**　あります、

**記者**　すると一ばん安全で、安くて、しかも夫婦共に滿足の行く、といふ様な方法はないでせうか。

**尾崎**　さうした意味で私どもは『コントラ』をおすゝめします

これは婦人用のゝでゝゝゝ‥‥ふやうになつてゐるのですが、何の危險も害もなく、唯でも自分の手で自由に使ふことができるのみならず、御主人に内しよにしてゐて氣づかれない位ですから、今のところ世界中どこの國でもこれほど便利で有効なものはないと言はれてゐます。尚、コントラを翌日取出す前に一應洗滌器で洗滌しますと効果は絶對的に確實だと云へます。

100%的

# 產兒制限器具

社會民衆黨東京市會議員
東京市社會局囑託
ドクトル 馬島 僴氏談




婦人用の避姙用具は、實に多種多樣であるが、嚴密な醫學上の立場から見てその多くは甚だ效果の疑はしいものである。

たゞイギリスで專ら用ひられてゐる子宮キャップと、オランダでひろく認められて居る膣與閉塞膜（ペッサリー）の二種は、現今醫學が敎へる範圍での最も理想に近いものと云へる。

しかし私の經驗で、イギリス型は一々醫師が取扱はないと屢々失敗の虞れがある。これに反してオランダ型は、素人が自ら極めて簡單に用ひられて、未だ失敗の例も見出さない。私は主としてオランダ型を採用して來た。

だが輸入品は、とかく高價なので、日本に於てよきオランダ流のものを製作し度いと考へ、小柳ゴム製作所に依頼して、特に私の長い間の經驗から得た考案を、注意深く加へて製作したのが即ち今回發表された本品である。

滿足なるこの製品を得るまでには可なりの長い時日を費した。醫師としての責任上私はたとへどんな小さな缺點でも容認する事は出來なかつた。私は樣々な製作過程によつて製作された試作品を數十回に亘つて一々嚴密な實驗をして見ねばならなかつた。此の間小柳氏の驚く可き熱心さとうむ事なき努力とは私のうるさい注文や注意を一々充分に研究し工夫し次から次と夥しい試作品を提供してくれた。か樣にして遂に今日發賣される物の樣な極めて滿足な製品に迄到達したのであつた。

ゴムの性質は勿論、ワクの太さ、彈力の度合、その取り付け方など主要部分の出來上りは外國品に優るとも斷じて劣るものでない事は、私が證明し得る。敢て私から一般大衆におすゝめする次第である。

## 馬島式ダッチペッサリーの臨床的效果

愛兒女性協會女醫 尾崎豐子氏談

專門的に、毎日澤山の御婦人達の避姙に關する御相談を受けてゐますが、日本婦人が、在來の習慣的又は風習的な道德觀から失禮でございますが性問題に對してあまりにも隱蔽的であり、無智でありますゝ爲、とんだ操作によつて恐ろしい危險を招かれた方が隨分多い樣でございます。

で私は一、誰もが手輕に何等の危險なく、完全に目的を達し得られる物としても先づ馬島式「ダッチペッサリー」をお勸めします。二、生理的にも心理的にも完全に申分がなくて、今日迄まだ一度も、不都合や不滿足や失敗のお小言を受けたことがございません。三、外國品に優る小柳製の改良型が出來ましたから、日本人にピッタリと合ふ理想品がお安く手に入る樣になりまして大變喜んでをります。

マジマ
ダッチペッサリー



**決定的な優秀點**

◆素人自ら手輕に使へる
◆絕對的なその效果
◆少しも不快を覺えない
◆自他共に使用感がない
◆永く使へて經濟的

## ドクトル馬島僴氏改良 マジマ ダッチペッサリー

▼詳細な使用法付說明書進呈

このペッサリーは第五回產兒制限國際會議に於ける醫師部會に出席せられた多數によつて、支持せられたもので、且つ和蘭政府公認、產兒制限相談所では、本品を四十年來推奬使用して好成績を擧げて居ります。その他英國に於ける新マルサス聯盟も本品を推奬してゐます。

| 定價 | |
|---|---|
| 小形（未產婦用） | 一圓五十錢 |
| 大形（經產婦用） | 一圓五十錢 |
| 送料各十二錢 | |

勤勞階級大衆の爲、組合團體の御註文は特に割引申し上げる規定があります。

## ドクトル馬島僴氏改良 馬島式婦人衞生器（別名馬島式子宮洗滌器）

▲定價 二圓五十錢 送料十二錢

本品は英國型を更に改良して臥床のまゝ洗滌し得る最新式の物

## 小柳式婦人衞生器（別名小柳式子宮洗滌器）

▲定價 一圓 送料十二錢

最も簡短によく洗滌し得られる特徵を持つて居ります。

◉馬島式のダッチペッサリーと共に、右のいづれかの婦人衞生器を御併用になれば、一層確實性を增大することが出來ます

東京市神田區連雀町
**小柳ゴム製作所**
神田郵便局前通り
電話神田二六三八番
振替東京六五一三八番

東京市神田區駿河臺
**主婦之友社代理部**
振替口座東京一八〇番




純國産ヘチマクリームは
お肌をなめらかに美しく整へ
キメを細に若々しくする
アレ止めに粉白粉下に最も
良いクリームで御座います

大瓶 七十五錢
中瓶 五十錢
小瓶 三十錢

Vol. IV No. XI "FUSEN" December. 1930
Published monthly by The Woman's Suffrage League of Japan.

昭和四年十二月廿八日 第三種郵便物認可
昭和五年十二月一日發行

發行所 東京 麹町、四ノ五 婦選獲得同盟

復刻版　婦選　第3巻

1992年12月10日発行
本体価格　15、000円

発行者　船橋　治
発行所　不二出版
東京都文京区向丘1-2-12
〒113　☎03(3812)4433
印刷所　三進社
製本所　青木製本所
中性紙使用